

区別情報

インデックス

<行政区>	<頁>	<行政区>	<頁>
北 区	277	東淀川区	301
都 島 区	279	東 成 区	303
福 島 区	281	生 野 区	305
此 花 区	283	旭 区	307
中 央 区	285	城 東 区	309
西 区	287	鶴 見 区	311
港 区	289	阿倍野区	313
大 正 区	291	住之江区	315
天王寺区	293	住 吉 区	317
浪 速 区	295	東住吉区	319
西淀川区	297	平 野 区	321
淀 川 区	299	西 成 区	323

カテゴリー

1. 区プロフィール	3. 区の地図
2. 統計からみる区の状況	4. 地域の状況
主要統計指標	5. 地域資源情報
高齢化指標	6. その他（高齢者の支援に関する 区独自の取組など）
区の水準	
区の高齢化の特徴	

1. 北区

1. 北区プロフィール

特徴	北区は大阪の玄関口に位置し、三方を河川に囲まれ、区を中心部であるJR大阪駅周辺は超高層ビルが並ぶビジネス街であり、西日本最大の地下街とあわせ大規模なショッピング街となっている。また、北区天満界域は大阪におけるガラス発祥地でもあり、伝統工芸・文化の担い手である職人たちも数多く存在する。東部の大川沿いは桜の名所であり、南部の中之島は国の重要文化財指定である大阪市中央公会堂がある。西部の梅田地区、大阪駅北地区は、複合商業施設で賑わっている。
トピックス	北区役所では、全日本不動産協会大阪府本部北支部、大阪府宅地建物取引業協会北支部、北区地域振興会と協力関係を築き、誰もが住みたいまちをめざしている。 地域住民の生活課題の早期発見を行い、対応が困難な福祉・医療等の知識や経験が必要とされるケースに対して専門的な支援体制作りを行うため、平成27年度から地域福祉コーディネーターを各小地域に配置し、住民主体の福祉コミュニティづくり推進事業を進めている。

2. 統計からみる北区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	129,412人	7	面積	10.34 km ²	7
人口密度	12,516人/km ²	18	世帯数	77,956世帯	5

高齢化指標

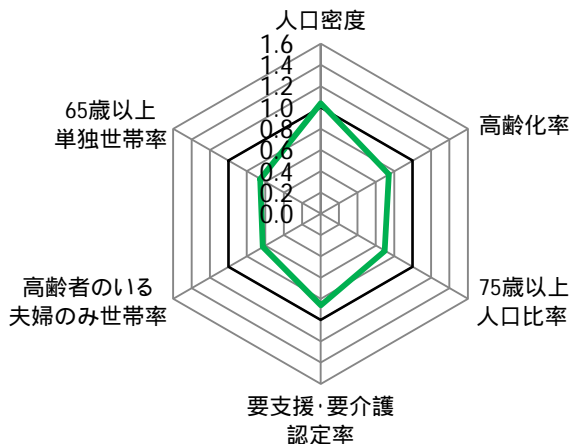
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	24,714人	14	高齢化率	19.1%	22
65～74歳人口	13,074人	12	75歳以上人口	11,641人	15
65～74歳人口比率	10.1%	21	75歳以上人口比率	9.0%	21
要介護認定者数 ¹ (認定率)	5,044人	17	認知症高齢者数(65才以上) ²	1,207人	16
	21.2%	22	認知症高齢者数(75才以上) ²	1,102人	16
65歳以上単独世帯数 ³ (世帯率)	7,209世帯	12	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	4,013世帯	15
	9.7%	21		5.4%	21

1：平成29年9月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

北区の水準（大阪市 = 1とした指数）



北区の高齢化の特徴

高齢化率は19.1%で市内22位と低い

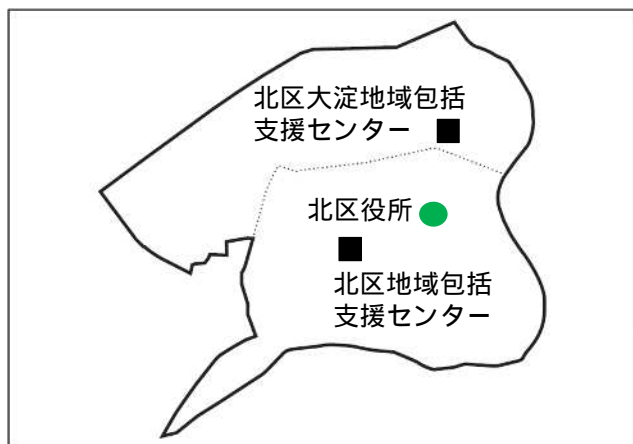
65～74歳人口比率、75歳以上人口比率ともに21位と低い。

65歳以上単独世帯率が9.7%、65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯率5.4%と低い。

認定率は市平均よりも低く22位である。

各指標は全体的に大阪市の水準に比べて低く、高齢化が進んでいない区域である。

3. 北区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

福祉関連では、区内にCSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）を配置し、各地域の地域福祉コーディネーターやまちともサービスサポート会員等と連携して個々の生活課題、福祉課題の早期発見に努めた。また、様々な専門機関と連携し、早期支援、解決を行う体制を構築し、住民主体の福祉コミュニティづくりを進めている。

北区の全19地域において地域活動協議会が形成されており、地域住民、地域団体等が、これまで培われてきた人と人との「つながり」や「きずな」を礎にしながら、自律的な地域運営に取り組んでいる状態である。

5. 地域資源情報

地域資源の状況（平成29年3月31日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	2か所	連合町会数（H27国勢調査）	19団体
総合相談窓口（ランチ）	3か所	民生委員・児童委員	163人
老人クラブ数	22団体		

主な介護保険事業者・施設の状況（平成29年9月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	80	介護老人福祉施設	5	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	0			夜間対応型訪問介護	1
訪問看護	23			地域密着型通所介護	19
訪問リハビリテーション	1	介護老人保健施設	2	認知症対応型通所介護	1
通所介護	9			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	6			認知症対応型共同生活介護	4
福祉用具貸与	16	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	5			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	2			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	56				

在宅医療の状況（平成29年10月1日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	0か所	在宅療養支援歯科診療所	26か所
在宅療養支援診療所	30か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	92か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

はつらつ脳活性化プロジェクト事業

高齢者が自ら認知症予防のための活動を習慣化できる地域づくりを目指し下記事業を平成22年度から実施している。

はつらつ脳活性化教室：認知症予防を目的に百歳体操+脳活性化レクリエーションを組み合わせた内容として平成29年9月末現在10地域で開催している。

はつらつ脳活性化教室サポーター養成講座：認知症やその予防に関する基礎的な講義、はつらつ脳活性化教室に沿った講義と演習を行い、地域での教室を運営する人材を育成する。

はつらつ脳活性化教室サポーターレベルアップ講座：サポーターの活動意欲を高め、サポーターの活動の充実をはかる機会とする。

はつらつ脳活性化サポーター支援チーム：地域継続できるための課題を抽出、プロジェクトの実践を支援する会議を年3回開催している。

2. 都島区

1. 都島区プロフィール

特徴	都島区は大阪市の北東部に位置し、西側を大川に沿って南北に長く、北側を淀川に、南側は寝屋川にそれぞれ接している。かつて京街道の起点に近く、交通の要衝として賑わった京橋地域は今もなお、JR環状線・学研都市線・東西線、京阪電鉄、地下鉄長堀鶴見緑地線が相互に連絡し、大阪東部の玄関口として、また商業のまちとして知られている。リバーサイドともぶちや大型高層住宅群ベルパークの建設を契機に、都心に近接した交通の便の良い理想的な住宅地としての価値が見直され、マンション建設・市街地再開発が加速し、着実な発展を続けている。
トピックス	都島区では、中野町の市電都島車庫跡地及び旧国鉄淀川貨物線跡地には、総合医療センターや保健福祉センター分館、スポーツセンターなどの公共施設が整備され、都心に近く居住環境に優れたまちなみが誕生している。 平成30年度末までにJR「おおさか東線」が延長され、新しい駅が設置される予定である。

2. 統計からみる都島区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	106,523人	13	面積	6.08 km ²	18
人口密度	17,520人/km ²	5	世帯数	53,790世帯	13

高齢化指標

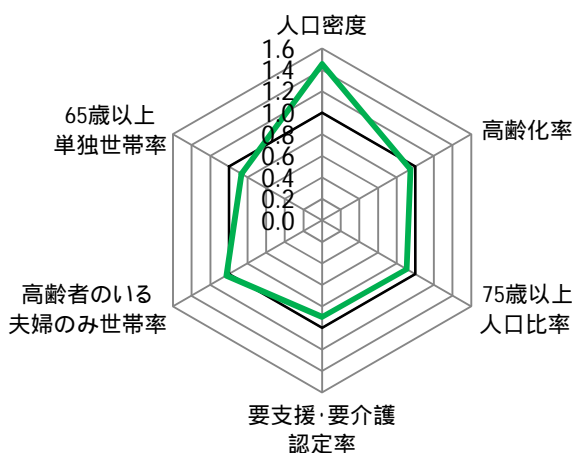
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	26,010人	12	高齢化率	24.4%	16
65～74歳人口	13,515人	10	75歳以上人口	12,495人	13
65～74歳人口比率	12.7%	13	75歳以上人口比率	11.7%	16
要介護認定者数 ¹ (認定率)	5,511人 22.0%	13 19	認知症高齢者数(65才以上) ²	1,287人	13
65歳以上単独世帯数 ³ (世帯率)	6,619世帯	13	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	4,566世帯	12
	12.9%	17		8.9%	14

1：平成29年9月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

都島区の水準（大阪市 = 1とした指数）



都島区の高齢化の特徴

高齢化率は24.4%で16位となっている。

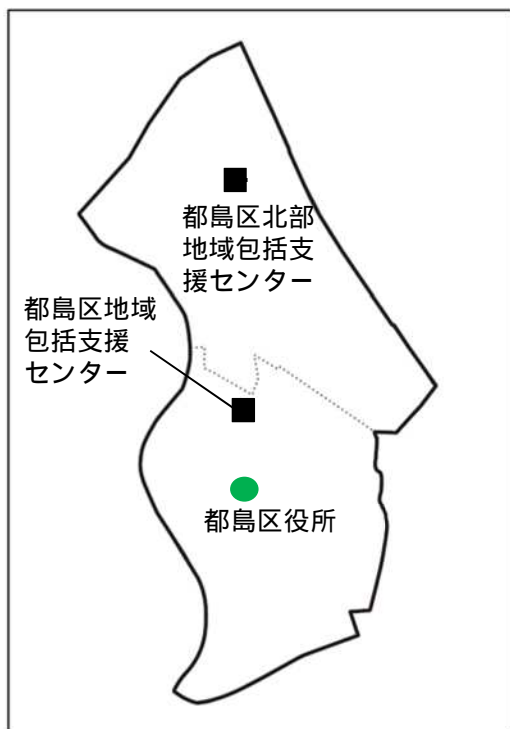
65～74歳人口比率は13位、75歳以上人口比率は16位となっている。

認定率は19位と低い。

65歳以上の単独世帯率は17位で市平均よりも低い、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は14位と市平均に近い。

各指標は概ね市平均を下回り、比較的高齢化は進んでいない区域である。

3. 都島区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

防災・防犯など安全・安心を礎に、活力ある地域社会づくりに向け、地域の見守りネットワークの強化に取り組んでいる。

いきいきと健康に暮らせるまちづくりでは、「地域福祉コーディネート事業」で「要援護者の見守りネットワーク強化事業」と連携するため活動時間を拡充するなど、身近な相談体制や見守り活動を強化し、相談件数も増加している。

5. 地域資源情報

地域の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区 分	件 数
地域包括支援センター	2 箇所
総合相談窓口（ランチ）	3 箇所
老人クラブ数	52 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	9 団体
民生委員・児童委員	132 人

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	49	介護老人福祉施設	3	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	14			地域密着型通所介護	18
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	3	認知症対応型通所介護	3
通所介護	15			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	5			認知症対応型共同生活介護	7
福祉用具貸与	13	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	4			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	3			複合型サービス	1
特定施設入居者生活介護	6				
居宅介護支援	48				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区 分	件 数	区 分	件 数
在宅療養支援病院	1 箇所	在宅療養支援歯科診療所	8 箇所
在宅療養支援診療所	22 箇所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	55 箇所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

地域福祉コーディネート事業

高齢者をはじめとした地域住民のための身近な相談窓口として、地域福祉コーディネーターを区内各地域に配置している。地域住民からの多様な相談を関係機関につないだり、食事サービスやふれあい喫茶等に参加して参加者同士顔の見える関係づくりに努めている。また、地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業における、名簿整理や訪問等の支援を行っている。

健康づくりのつどい（健康展）

医師会等の地域の各団体と共同して、健康づくりに関するブースの出展を行うイベントを年 1 回実施している。

3. 福島区

1. 福島区プロフィール

特徴	福島区は北に新淀川、南は堂島川・安治川に面し、大阪市の西北部に位置し、区内に九つの駅を有し、市内中心部や神戸方面への交通の要衝となっている。1990年以降、区内各所に超高層マンションや大規模団地が建設された。福島駅周辺に商業地やオフィスビルが集積し、区の西部地域には、機械・金属製品工場が存在するが、近年は急速に宅地化が進んでいる。大開2丁目は、パナソニック創立の地もある。野田の藤見物は、その美しさから、600年前の南北朝時代に盛んであったが、時を経ても「のだふじ」は豊かな房が特徴で、平成7年に区の花に制定された。
トピックス	福島区では、地域活動協議会と福島区まちづくりセンターの共同編集による「月刊地活協」で、区内の各地域活動協議会の日ごろの活動や、地域のキーパーソンを紹介している。 地域団体、市民、NPO、企業など多様な活動主体の参画のもとに形成された地域活動協議会が核となって、自律的に地域運営を行えるように様々な支援を行っており、高齢者や障がい者の日常生活の軽微なニーズに対し、身近な地域の有償ボランティアにより支えることができるよう、マッチングを実施している。

2. 統計からみる福島区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	74,381人	21	面積	4.67 km ²	22
人口密度	15,927人/km ²	9	世帯数	39,069世帯	22

高齢化指標

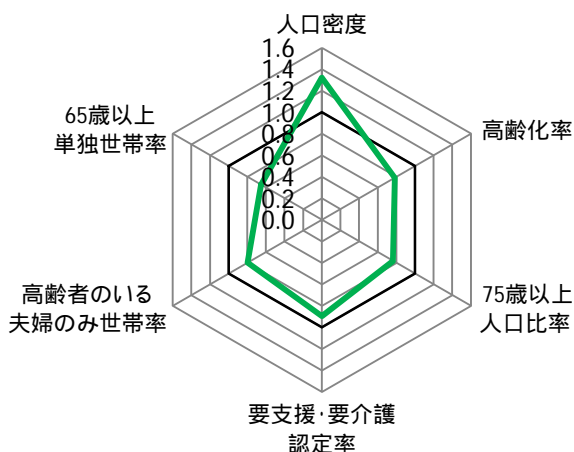
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	15,010人	23	高齢化率	20.2%	19
65～74歳人口	7,681人	23	75歳以上人口	7,328人	22
65～74歳人口比率	10.3%	19	75歳以上人口比率	9.9%	20
要介護認定者数 ¹	3,247人	23	認知症高齢者数(65才以上) ²	676人	24
(認定率)	22.0%	21	認知症高齢者数(75才以上) ²	616人	24
65歳以上単独世帯数 ³	3,635世帯	24	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	2,581世帯	23
(世帯率)	9.7%	22		6.9%	19

1：平成29年9月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

福島区の水準（大阪市 = 1とした指数）



福島区の高齢化の特徴

高齢化率は20.2%で19位である。
65～74歳以上人口比率は19位、75歳以上人口比率は20位である。
認定率は21位と下位である。
65才以上の高齢者の単独世帯、夫婦のみ世帯も下位である。
各指標の高齢化水準が、全体的に大阪市平均と比較して順位が低く、高齢化が進んでいない区域である。

3. 福島区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

隣近所での「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」といった身近な地域の中で、高齢者等に関する課題の解決に取り組むことによって、豊かなコミュニティを醸成し、大規模災害をはじめ様々なリスクに耐え得る復元力の高い強靱な地域社会づくりをめざしている。

地域の福祉活動サポート事業では、コーディネーターを区内 10 地域に配置し、地域の需要を掘り起こすため、高齢者食事サービスの会場などでも事業の周知に努めた。

5. 地域資源情報

地域資源の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	1 か所	連合町会数（H27 国勢調査）	10 団体
総合相談窓口	2 か所	民生委員・児童委員	92 人
老人クラブ数	23 団体		

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	40	介護老人福祉施設	2	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	0			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	9			地域密着型通所介護	9
訪問リハビリテーション	1	介護老人保健施設	1	認知症対応型通所介護	2
通所介護	7			小規模多機能型居宅介護	1
通所リハビリテーション	3			認知症対応型共同生活介護	4
福祉用具貸与	7	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	2			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	1			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	2				
居宅介護支援	32				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	0 か所	在宅療養支援歯科診療所	10 か所
在宅療養支援診療所	15 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	42 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

健康講座の開催

保健福祉課（保健活動）において認知症予防、ロコモティブシンドローム予防、口腔ケアなど区民の方にとって関心の高い内容の講座を開催する。

地域の福祉活動サポート事業

区民の方が安心して暮らしていけるよう、身近な相談窓口を各地域のコミュニティーセンターに設け地域福祉コーディネーターを配置し、福祉サービスへの橋渡しや災害時の避難支援体制の構築促進を行う。

ふくしま暮らし支え合いシステム事業

住み慣れた地域で暮らして行けるよう介護サービスや自立支援サービスの対象外の軽微な家事のお手伝いをし地域での共助体制構築の推進を図る。

4. 此花区

1. 此花区プロフィール

特徴	此花区は、淀川河口の南部に位置し、面積は大阪市 24 区中第 2 位である。西は大阪湾に面し、北は淀川に南は安治川に接し、水利に恵まれ重化学工業を中心とする我が国の経済を支える臨海工業地帯として発展してきた。近年、産業構造の変化に伴い、工場の移転・集約や研究・開発部門への転換が図られている。西部臨海地域では平成 13 年 3 月に国際的なテーマパーク「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)」がオープンし、内外からの来訪者でにぎわっている。区の東部は、古くからの住宅地が形成されている。西島地区では、工場跡地を活用して、淀川沿いにスーパー堤防と一体化した水と緑に恵まれた快適な居住空間をめざした西島地区整備事業が完了している。
トピックス	高齢者が住み慣れた町で安心して暮らせるようにと開設された在宅介護拠点施設「此花ふれあいセンター」 ¹ 、「おとしよりすこやかセンター西部館」や女性の社会参加と自立を支援する男女共同参画センター「クレオ大阪西」のほか、こども文化の振興を目的とした「大阪市立こども文化センター」 ² 、会館・室内プール等を複合した「此花総合センタービル」など、社会福祉施設や文化施設の充実も図られ、潤いのある住みよいまちづくりがめざされている。

2. 統計からみる此花区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	66,362 人	23	面積	19.25 km ²	2
人口密度	3,447 人/km ²	24	世帯数	31,309 世帯	23

高齢化指標

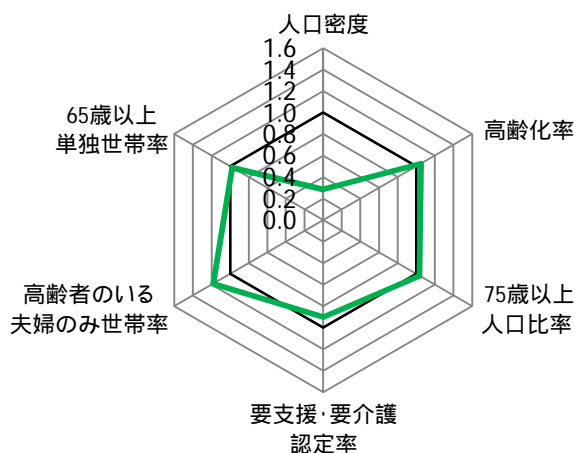
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	17,954 人	19	高齢化率	27.1%	10
65～74 歳人口	9,097 人	19	75 歳以上人口	8,856 人	19
65～74 歳人口比率	13.7%	7	75 歳以上人口比率	13.3%	11
要介護認定者数 ¹	4,024 人	19	認知症高齢者数(65 才以上) ²	773 人	22
(認定率)	22.2%	18	認知症高齢者数(75 才以上) ²	700 人	21
65 歳以上単身世帯数 ³	4,467 世帯	21	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	3,134 世帯	19
(世帯率)	14.6%	11		10.2%	9

1：平成 29 年 9 月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年 4 月 1 日現在）

3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

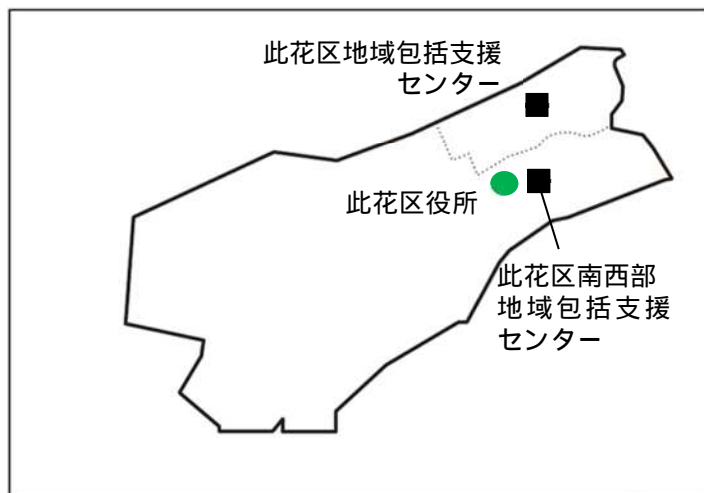
此花区の水準（大阪市 = 1 とした指数）



此花区の高齢化の特徴

高齢化率は 27.1% で 24 区中 10 位である。
 65～74 歳人口比率は 13.7% で 7 位となっている。
 認定率 22.2% と平均より低く、順位も 18 位である。
 65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯率がやや高い。
 高齢化の状況は平均に近いが、65 歳～74 歳人口比率や、65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯率がやや高い地域である。

3. 此花区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

区の経営課題である誰もがいきいきと暮らせる健康・福祉の充実に向け、地域のボランティアの協力を得て「このはな地域見守りタイ」による高齢者等の見守り活動を実施した。今後は、事業の地域への移行を見据えたボランティアリーダーの機能強化、担い手の育成が課題である。健康づくりについては、健康体操や血管すっきり健康講座など区民が身近な場所で主体的に健康づくりを図ることができる取り組みを実施している。

5. 地域資源情報

地域資源の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	2 箇所	連合町会数（H27 国勢調査）	10 団体
総合相談窓口（ランチ）	1 箇所	民生委員・児童委員	117 人
老人クラブ数	10 団体		

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	30	介護老人福祉施設	4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	0			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	5			地域密着型通所介護	9
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	1	認知症対応型通所介護	0
通所介護	10			小規模多機能型居宅介護	5
通所リハビリテーション	3			認知症対応型共同生活介護	4
福祉用具貸与	5	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	4			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	1			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	24				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	2 箇所	在宅療養支援歯科診療所	13 箇所
在宅療養支援診療所	17 箇所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	22 箇所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

このはな地域見守りタイ事業
誰もがいきいきと暮らせる健康・福祉の充実に向け、地域のボランティアの協力を得て高齢者等の見守り活動を実施している。

此花区高齢者食事サービス事業
区内に居住するひとり暮らし高齢者やねたきり高齢者等を対象に、ボランティアが地域施設での会食等の世話をを行い、高齢者の健康の増進と孤独感の解消を図り、また、地域社会との交流を深め、高齢者の介護予防や社会参加を促進することを目的に食事サービス事業を実施している。

5 . 中央区

1 . 中央区プロフィール

特徴	中央区は、市街地の形成としては、わが国初の都市である難波宮から、近世の大坂城築城を経て今日に至る長い歴史をもつ。証券、薬、卸商などの経済活動が活発に展開され、商店街、百貨店、飲食店街では賑いを見せ、区内各所には著名人にまつわる由緒ある寺社や歴史的遺物なども数多く存在する。大阪城公園を中心とした地域では、緑あふれる都心のオアシスとして観光客が訪れ、市民の憩いの場として大きな役割を担っている。
トピックス	中央区では、まちの歴史と伝統を引き継ぎながら、地域のみなさんの連帯感により、コミュニティを大切にす世代を超えた交流が脈々と続いており、「区民まつり」をはじめとした多くの行事が開催されるなど、歴史と文化に彩られた伝統を継承しつつ、新しい時代の経済・文化の中心として、また、国際集客都市を構成する中心区として、活気あふれるまちづくり、コミュニティづくりを進めている。区のめざすべき将来像として、要介護者の見守り、医療と介護との連携に対する支援等を行うこと等を掲げている。

2 . 統計からみる中央区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	96,438 人	15	面積	8.87 km ²	11
人口密度	10,872 人/km ²	19	世帯数	61,558 世帯	9

高齢化指標

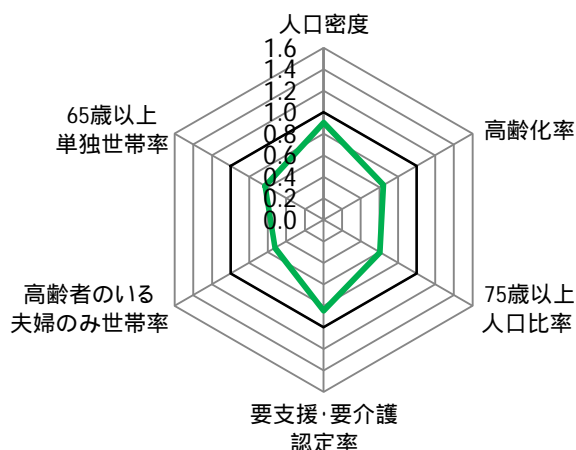
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	15,921 人	20	高齢化率	16.5%	23
65～74 歳人口	8,389 人	21	75 歳以上人口	7,532 人	21
65～74 歳人口比率	8.7%	23	75 歳以上人口比率	7.8%	23
要介護認定者数 ¹ (認定率)	3,312 人	22	認知症高齢者数(65 才以上) ²	860 人	19
	20.7%	23	認知症高齢者数(75 才以上) ²	783 人	19
65 歳以上単独世帯数 ³ (世帯率)	5,500 世帯	17	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	2,660 世帯	20
	9.3%	23		4.5%	23

1：平成 29 年 9 月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年 4 月 1 日現在）

3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

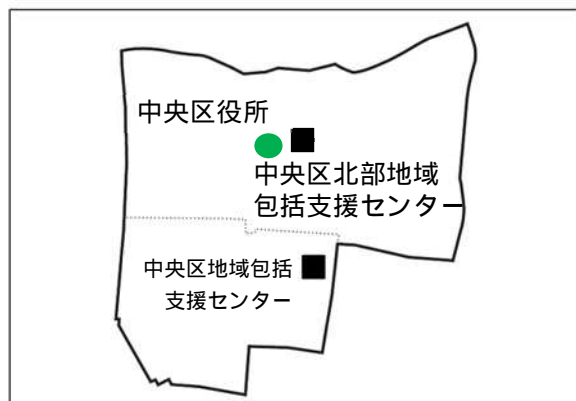
中央区の水準（大阪市 = 1 とした指数）



中央区の高齢化の特徴

高齢化率は 16.5% と低く、24 区中 23 位である。
65 歳～74 歳人口比率、75 歳以上人口比率ともに 23 位である。
65 歳以上単独世帯率、高齢者のいる夫婦のみ世帯率も 23 位となっている。
認定率は 23 位と低い。
各指標の水準が全体的に大阪市平均に比べて非常に低く、市内で高齢化が 2 番目に進んでいない区域である。

3. 中央区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

要援護者の見守りネットワーク強化に向け「要援護者名簿」作成している。

中央区在宅医療・介護ネットワークでは、区民や関係者に対して、在宅医療と介護との連携の必要性を啓発するとともに、区内の関係施設等の資源を検索しやすくするなど、実際に役立つ施策に取り組んでいる。

在宅医療・介護関連施設の周知や関係機関との連携強化を図るなど、高齢者等が地域で安心して生活できる支援体制の充実に努めた。

5. 地域資源情報

地域資源の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	2 か所	連合町会数（H27 国勢調査）	25 団体
総合相談窓口（ランチ）	0 か所	民生委員・児童委員	121 人
老人クラブ数	19 団体		

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	47	介護老人福祉施設	1	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	15			地域密着型通所介護	9
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	1	認知症対応型通所介護	1
通所介護	5			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	2			認知症対応型共同生活介護	4
福祉用具貸与	25	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	2			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	1			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	2				
居宅介護支援	37				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	0 か所	在宅療養支援歯科診療所	26 か所
在宅療養支援診療所	32 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	97 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

地域福祉見守り活動事業

中央区では、高齢者等が地域で安心して暮らすことができるよう、区内 17 地域に地域福祉コーディネーターを配置し、各種の相談に応じるとともに、要援護者に対して必要に応じて見守りを行っている。

中央区地域ケア研究集会

中央区では、地域包括ケアの推進に向けて、医師会が中心となり、医療・介護に関わる多職種の方々が参加する中央区地域ケア研究集会を年 1 回開催している。この研究集会で多職種の方々がお互い顔の見える関係づくりに務めることによって、医療・介護の連携に繋げている。

ラジオ体操

中央区では、平日の始業前に区役所ロビーで、区民の皆様と職員によるラジオ体操を実施し、健康増進とともにコミュニケーションの場づくりに取り組んでいる。

6. 西区

1. 西区プロフィール

特徴	西区は、区の中央部を流れる木津川を境に、東部は商業地域とともに高層住宅、西部は高い技術力をもったものづくり企業が集積し、大型ショッピングモールや商店街がある。東西南北に通じる幹線道路網があり、地下鉄・私鉄など区内を縦横に通じ交通至便である。都心の憩いの場としての鞆公園をはじめ大小30か所の公園、市立中央図書館、鞆テニスセンターなどの文化教育施設やスポーツ施設が充実している。良好な居住環境や交通の至便性が高く評価され、近年マンションの建設が相次ぎ、人口は増加の一途をたどっている。都心部にありながらも、様々な地域団体を中心に夏祭りや餅つき大会、防災、防犯活動、こども・高齢者の見守りなど地域活動も盛んである。
トピックス	西区では、「安全で安心なまちづくりに向けたコミュニティ力の向上」、「こども・子育て施策の充実」を基本方針として、見守りや災害時の声掛けなど身近な地域の課題に対応する自助・共助の機能を充実するため、新たに区に流入した住民同士や既存の地域コミュニティとの間で、極的なコミュニケーションを図る取組みを進めるとともに、急増するこどもや子育て層に対する支援施策についても充実を図っていく。

2. 統計からみる西区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	97,667人	14	面積	5.21 km ²	20
人口密度	18,746人/km ²	2	世帯数	55,644世帯	12

高齢化指標

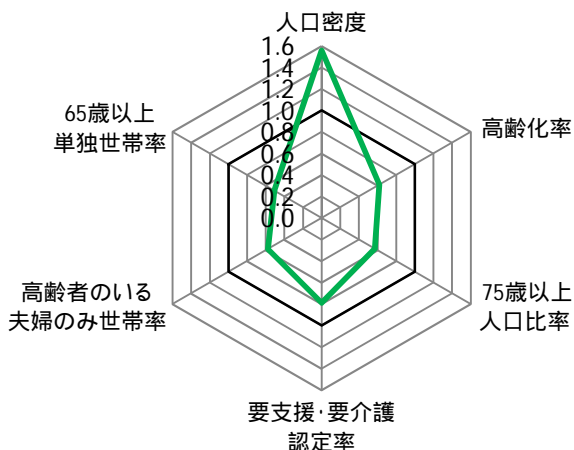
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	15,594人	22	高齢化率	16.0%	24
65～74歳人口	8,414人	20	75歳以上人口	7,179人	23
65～74歳人口比率	8.6%	24	75歳以上人口比率	7.4%	24
要介護認定者数 ¹	2,976人	24	認知症高齢者数(65才以上) ²	709人	23
(認定率)	19.4%	24	認知症高齢者数(75才以上) ²	643人	23
65歳以上単独世帯数 ³	3,934世帯	23	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	2,591世帯	22
(世帯率)	7.5%	24		5.0%	22

1：平成29年9月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

西区の水準（大阪市 = 1とした指数）



西区の高齢化の特徴

高齢化率は16.0%と最も低い。
 65～74歳人口比率、75歳以上人口比率と最も低い。
 65歳以上のいる単独世帯率は24位と市内で最も低い、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は22位である。
 認定率は24位と最も低い。
 各指標の水準が圧倒的に低く、市内でも高齢化が最も進んでいない区域である。

3. 西区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

高層マンション等の開発に伴う転入者の増加が続く、地域コミュニティの希薄化が懸念されるなか、誰もが安心して暮らし続けることができるよう、地域住民同士のつながりづくりが課題となっている。

西区では、このような課題を踏まえて、地域住民のボランティアが主体となり、高齢者・障がい者・難病患者等、災害時に支援が必要とされる方々の見守りを行っており、区内14のすべての地域で組織的に活動し、地域のつながりづくりに取り組んでいる。

5. 地域資源情報

地域資源の状況（平成29年3月31日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	1か所	連合町会数（H27 国勢調査）	14 団体
総合相談窓口（ランチ）	1か所	民生委員・児童委員	130人
老人クラブ数	16 団体		

主な介護保険事業者・施設の状況（平成29年9月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	34	介護老人福祉施設	2	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	10	介護老人保健施設	3	地域密着型通所介護	4
訪問リハビリテーション	0			認知症対応型通所介護	4
通所介護	4			小規模多機能型居宅介護	0
通所リハビリテーション	2	介護療養型医療施設	2	認知症対応型共同生活介護	3
福祉用具貸与	18			地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	3			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	3			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	31				

在宅医療の状況（平成29年10月1日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	1か所	在宅療養支援歯科診療所	15か所
在宅療養支援診療所	8か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	50か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

区地域福祉見守り応援事業

地域における見守り活動の支援として、高齢者・障がい者等の孤立を防ぎ、地域とのつながりをつくっていくために、見守りコーディネーターを区内の全14地域に配置し、支援を必要とする人への福祉情報提供や相談対応、関係機関との連携を行っている。また、区内で地域住民が主体となった見守り活動組織を継続して運営するための支援を行っている。

在宅医療・介護連携推進事業

区民の在宅療養生活を支えるため、区内医療関係団体と介護関係団体との連携を促進するネットワークを構築。速やかな情報共有を行う仕組みとなる「情報共有シート」作成の過程や運用法の検証により、事業の要となる「顔の見える関係づくり」の充実に取り組んでいる。

7. 港区

1. 港区プロフィール

特徴	港区は安治川と尻無川にはさまれた水運にめぐまれた地域であり、さらに明治 36 (1903) 年、築港大棧橋の完成と市電の開業により、大阪の海の玄関口として大きく発展してきた。近年、港湾機能の中心は天保山から南港などに移ったが、ウォーターフロント開発により天保山に「海遊館」をはじめとする集客施設が集積するとともに、弁天町駅前には「オーク 200」の超高層ビル群が建ち並ぶなど、にぎわいの拠点づくりが進んできた。また、「大阪市中央体育館」「大阪プール」が建つ、国際的スポーツの一大拠点となっている。
トピックス	港区は、住民同士の交流が活発な下町の情緒あふれる住宅地でもある。地域の神社などでの祭りも盛んで、また地域と学校とのつながりが強く、子どもの安全を守るための活動に地域全体で取り組んでいる。「いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち 港区の実現」を目標に、豊かなコミュニティの形成や多様な協働による活力とうるおいのある地域社会の実現に向けて、区内の実情や特性に即した施策・事業を総合的に展開し、まちづくりを推進するとともに、区民が利用しやすい親切で信頼される区役所づくりを進めている。

2. 統計からみる港区の状況 (基準日:平成 29 年 10 月 1 日現在)

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	81,065 人	19	面積	7.86 km ²	15
人口密度	10,314 人/km ²	20	世帯数	40,505 世帯	20

高齢化指標

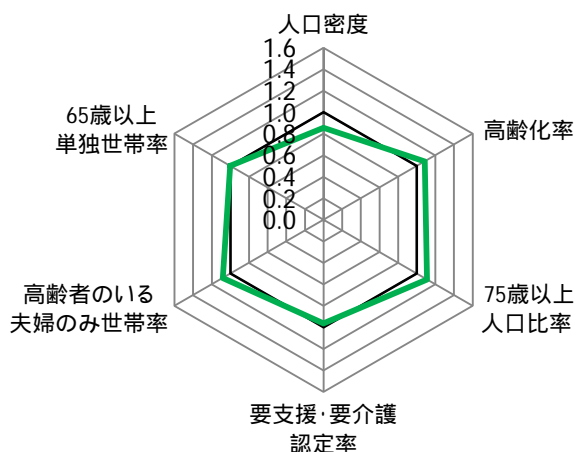
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	22,627 人	16	高齢化率	27.9%	8
65 ~ 74 歳人口	11,019 人	16	75 歳以上人口	11,608 人	16
65 ~ 74 歳人口比率	13.6%	8	75 歳以上人口比率	14.3%	8
要介護認定者数 ¹	5,251 人	15	認知症高齢者数 (65 才以上) ²	1,454 人	12
(認定率)	23.7%	11	認知症高齢者数 (75 才以上) ²	1,266 人	12
65 歳以上単独世帯数 ³	6,019 世帯	15	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	3,774 世帯	16
(世帯率)	14.9%	10		9.4%	13

1:平成 29 年 9 月末

2:認知症高齢者数は居宅のみ (平成 29 年 4 月 1 日現在)

3:国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」(平成 27 年 10 月 1 日現在)

港区の水準 (大阪市 = 1 とした指数)



港区の高齢化の特徴

高齢化率は 27.9% であり、大阪市平均に比べるとやや高い。

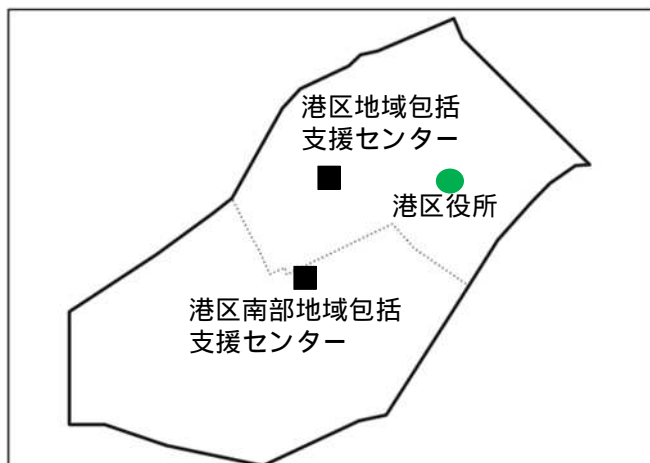
65 ~ 74 歳人口比率、75 歳以上人口比率とも 8 位と市平均よりもやや高い。

認定率は 11 位と中位にある。

65 歳以上単独世帯率は 10 位の一方、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は 13 位である。

人口の各指標の水準が、大阪市平均に比べてやや高く、高齢化が若干進んでいる区域である。

3. 港区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

高齢者要支援者の見守り支援

区民の健康増進等により、区民一人ひとりが健やかにいきいきと暮らせるまちづくりに向けた取組みを進めてきた。

今後もセーフティネットの充実、健康寿命の延伸に努め、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療と介護の関係機関の連携による包括的かつ継続的な在宅医療・介護サービスや、多様な事業主体による生活支援サービスが提供される、地域包括ケアシステムの構築に重点的に取り組む必要がある。

5. 地域資源情報

地域資源の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	2 箇所	連合町会数（H27 国勢調査）	11 団体
総合相談窓口（ランチ）	3 箇所	民生委員・児童委員	140 人
老人クラブ数	19 団体		

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	44	介護老人福祉施設	4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	2			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	6			地域密着型通所介護	16
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	2	認知症対応型通所介護	2
通所介護	12			小規模多機能型居宅介護	3
通所リハビリテーション	6			認知症対応型共同生活介護	7
福祉用具貸与	7	介護療養型医療施設	1	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	4			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	3			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	38				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	0 箇所	在宅療養支援歯科診療所	12 箇所
在宅療養支援診療所	16 箇所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	34 箇所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

「いきいき百歳体操」サポーター交流会の開催

住民主体の介護予防活動として各地域で行っている「いきいき百歳体操」の活動拠点で、サポーターとして活動している方々が活動状況の情報を共有・交換する等、地域を越えて交流できる機会を設定し、高齢者にとって楽しく参加できる場として継続運営ができるよう支援している。

健康月間の取り組み

区民の健康の保持・増進を目的として、生活習慣の改善、健康づくりの実践を促進するため、11 月を区民健康月間と定め区内企業、関係団体や関係機関の参画を得て、協働して「港区健康フェスタ」をはじめとする取組みを進め、健康づくりへの動機づけの機会を提供するとともに区民が主体的に健康づくり、介護予防に取り組めるよう、運動や健康づくりの知識の普及、啓発を図っている。

8 . 大正区

1 . 大正区プロフィール

特徴	大正区は市の南西部に位置して大阪湾に面し、区の三方を木津川、尻無川、岩崎運河に囲まれ、臨海工業地帯として発展してきた。地下鉄延伸により、都心へのアクセスも充実し、隣接区との連絡橋として「千本松大橋」「新木津川大橋」「なみはや大橋」、区内連絡橋として大正内港に架かる「千歳橋」があり、スムーズな交通の循環が図られている。鶴浜沖埋立地での豊かなウォーターフロントを生かした、賑わいのある空間の創出と地域の活性化を促進する開発等、平成 24 年の区政施行 80 周年を経て、「住・職・遊」のバランスのとれた魅力あふれるまちづくりを目指している。
トピックス	大正区の複合施設「アゼリア大正」は、音楽ホール・スポーツセンター・温水プールなどを備え、区民の健康増進と文化交流及び区民スポーツ・コミュニティづくりの拠点として利用されている。区西部の北村地区には、総合医療施設・障がい者施設・介護保険施設などが展開され、医療・福祉ゾーンとしての整備が進んでいる。高齢社会に向けた施設として、区内には在宅福祉・総合相談窓口の拠点としての「大正区ふれあい福祉センター」と2カ所の地域包括支援センター・2カ所のランチが設置され在宅介護の支援に大きな役割を果たしている。

2 . 統計からみる大正区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	64,355 人	24	面積	9.43 km ²	9
人口密度	6,824 人/km ²	21	世帯数	29,561 世帯	24

高齢化指標

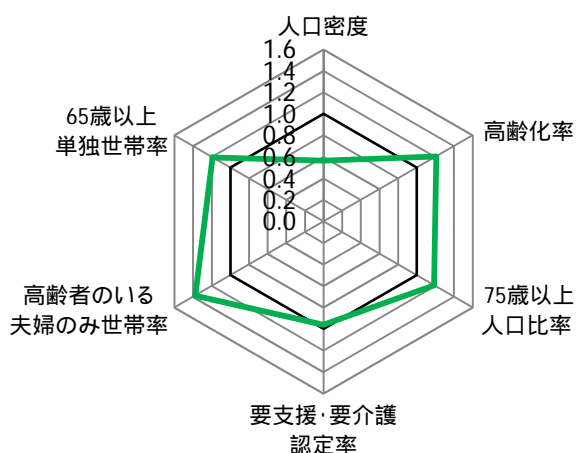
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	20,016 人	18	高齢化率	31.1%	3
65～74 歳人口	10,160 人	18	75 歳以上人口	9,855 人	18
65～74 歳人口比率	15.8%	3	75 歳以上人口比率	15.3%	5
要介護認定者数 ¹ (認定率)	4,780 人	18	認知症高齢者数(65才以上) ²	978 人	18
	23.6%	12	認知症高齢者数(75才以上) ²	852 人	18
65 歳以上単独世帯数 ³ (世帯率)	5,162 世帯	20	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	3,470 世帯	17
	17.7%	3		11.9%	1

1：平成 29 年 9 月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年 4 月 1 日現在）

3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

大正区の水準（大阪市 = 1 とした指数）



大正区の高齢化の特徴

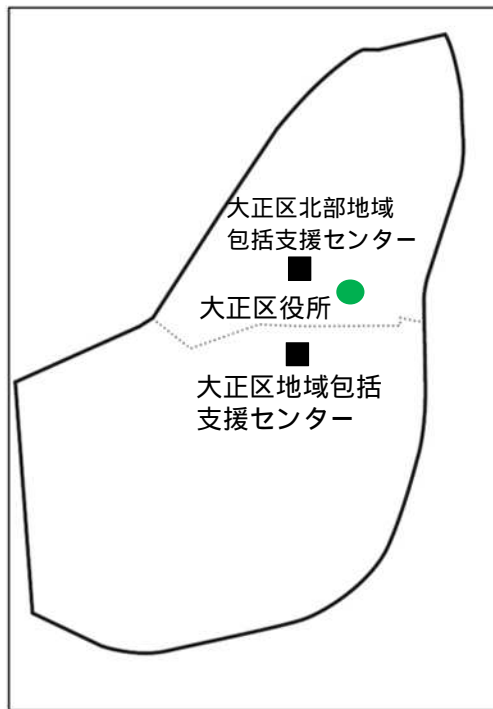
高齢化率は 31.1% と高く、24 区中 3 位である。

65～74 歳以上人口比率が 3 位、75 歳以上人口比率は 5 位である。

65 歳以上単独世帯率は 3 位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は 1 位となっている。

各指標の水準が、大阪市平均に比べて高く、高齢化が進んでいる区域であるが、要介護認定率は 12 位と中位である。

3. 大正区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

高齢者等に対する地域における見守り活動及び高齢者食事サービス事業の一体的な実施により、セーフティ機能の強化を図るとともに、活動を通して把握された要援護者の情報を地域福祉活動に役立てている。

「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」との連携により、両事業を効果的に実施し、区内の要援護者の支援のネットワークを張りめぐらせている。

5. 地域資源情報

地域の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区 分	件 数
地域包括支援センター	2 箇所
総合相談窓口（ランチ）	2 箇所
老人クラブ数	11 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	10 団体
民生委員・児童委員	114 人

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	44	介護老人福祉施設	6	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	0			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	5			地域密着型通所介護	14
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	3	認知症対応型通所介護	2
通所介護	8			小規模多機能型居宅介護	4
通所リハビリテーション	5			認知症対応型共同生活介護	7
福祉用具貸与	6	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	5			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	3			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	34				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区 分	件 数	区 分	件 数
在宅療養支援病院	1 箇所	在宅療養支援歯科診療所	8 箇所
在宅療養支援診療所	15 箇所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	33 箇所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

いきいき百歳体操の推進

大正区では高齢者の介護予防に効果的とされている「いきいき百歳体操」の普及啓発の取り組みを平成 26 年度より実施しており、その実施にあたっては、各地域拠点での同体操の指導・助言に加え、体操参加者が安全に実施できるよう見守り等の活動を行う「いきいき百歳体操サポーター」を育成し、地域において円滑かつ効果的に普及啓発できるよう体制を整備している。

地域支援会議の開催

大正区では高齢者を含む地域支援の一環として、関係機関間で地域課題を共有し課題解決に向けて一体的に支援する仕組みとして「地域支援会議」を開催し、社会福祉協議会、地域包括支援センター、ランチの職員、見守り推進員、保健福祉センター地域担当保健師などが小学校区毎に隔月参加し、地域の体制づくりに努めている。

9 . 天王寺区

1 . 天王寺区プロフィール

特徴	天王寺区は大阪市のほぼ中央に位置し、地勢は西高東低で南北にのびる帯状の上町丘陵と呼ばれる台地にある。区内には、わが国最初の大伽藍で、聖徳太子の創建(593年)による四天王寺をはじめ約200の社寺があるほか、さまざまな名所旧跡が多く、歴史と伝統の息づく町である。また、天王寺公園をはじめ緑豊かな公園が多く、大学から幼稚園まで70に近い校園を有し、美術館・動物園などの文化施設にも恵まれた文教の町でもある。天王寺ターミナルは、JRを中心として地下鉄、私鉄等の各線が集結しており付近の百貨店、商店街、地下街等の商業活動も盛んで、大阪でも有数の繁華街を形成している。
トピックス	天王寺区には、大阪赤十字病院・大阪警察病院・NTT西日本大阪病院などの大病院が多く、設備のすぐれた病院が数多く存在している。 「命を守る政策」がしっかりと進められているまちを目標のひとつに掲げている。重点的な経営課題として、65歳以上高齢者の4割が独居世帯であり、急病時や災害時の孤立化などが懸念されることから、これまでの地域の見守り活動とも連携を図りながら見守りを推進するとともに、交流機会の充実を図るとしている。

2 . 統計からみる天王寺区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	78,372人	20	面積	4.84 km ²	21
人口密度	16,193人/km ²	8	世帯数	39,604世帯	21

高齢化指標

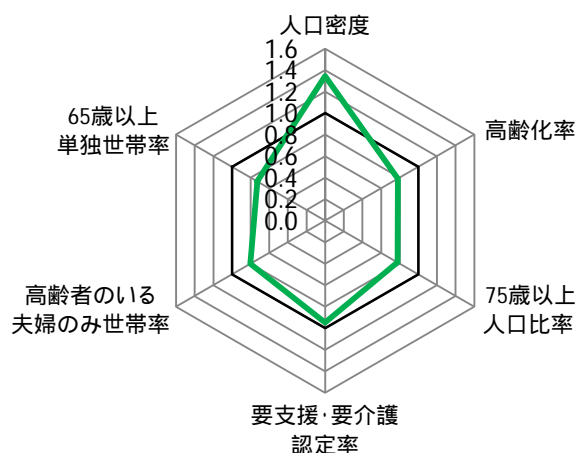
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	15,768人	21	高齢化率	20.1%	20
65～74歳人口	7,909人	22	75歳以上人口	7,861人	20
65～74歳人口比率	10.1%	22	75歳以上人口比率	10.0%	19
要介護認定者数 ¹	3,441人	20	認知症高齢者数(65才以上) ²	792人	21
(認定率)	23.3%	13	認知症高齢者数(75才以上) ²	719人	20
65歳以上単独世帯数 ³	4,121世帯	22	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	2,639世帯	21
(世帯率)	10.8%	20		6.9%	18

1：平成29年9月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

天王寺区の水準（大阪市 = 1とした指数）



天王寺区の高齢化の特徴

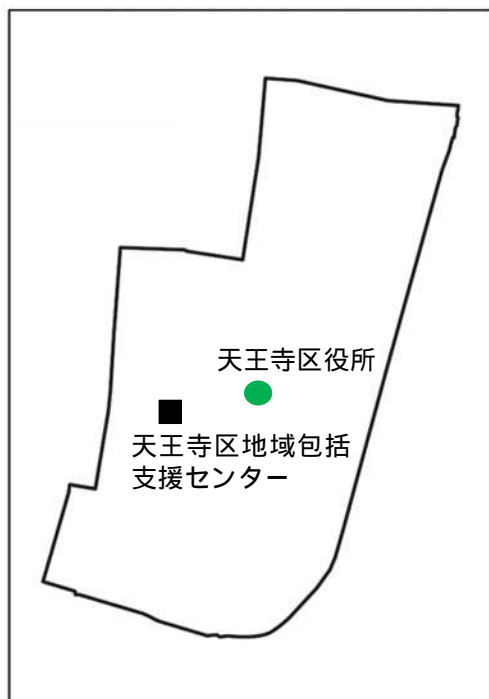
高齢化率は20.1%と低く、20位である。

65～74歳人口比率は22位、75歳以上人口比率は19位と下位である。

65歳以上単独世帯率は20位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は18位である。

各指標の水準が、大阪市平均に比べて低く、比較的高齢化が進んでいない区域であるが、認定率は13位と中位である。

3. 天王寺区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

お年寄り 1 人 1 人の命を守り抜く地域福祉を挙げている。急病時・災害時に高齢者が孤立しないよう、見守り体制が再構築され、見守りが必要な全ての高齢者が見守られている状態、全ての高齢者が交流できている状態をめざしている。

独居高齢者は、急病時、災害時の孤立化や孤独死等が懸念されるが、「要援護者見守りネットワーク強化事業」(全市実施)の展開により、希望者を対象に地域による平時の見守りを実施するなど、地域における見守り体制は着実に構築されつつある。

5. 地域資源情報

地域の状況(平成 29 年 3 月 31 日現在)

区 分	件 数
地域包括支援センター	1 か所
総合相談窓口(ブランチ)	2 か所
老人クラブ数	16 団体
連合町会数(H22 国勢調査)	9 か所
民生委員・児童委員	97 人

主な介護保険事業者・施設の状況(平成 29 年 9 月末現在)

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	44	介護老人福祉施設	2	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	14			地域密着型通所介護	9
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	2	認知症対応型通所介護	2
通所介護	9			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	4			認知症対応型共同生活介護	4
福祉用具貸与	11	介護療養型医療施設	1	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	3			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	2			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	5				
居宅介護支援	28				

在宅医療の状況(平成 29 年 10 月 1 日現在)

区 分	件 数	区 分	件 数
在宅療養支援病院	1 か所	在宅療養支援歯科診療所	11 か所
在宅療養支援診療所	19 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	58 か所

6. その他(高齢者の支援に関する区独自の取組など)

独居高齢者等見守りサポーター事業

75 歳以上の独居世帯、75 歳以上の高齢者のみで構成される世帯(介護サービス利用世帯・生活保護受給世帯などを除く)でボランティア等による定期的な訪問について同意した方に対し、地域の事情に応じて月 1 回程度見守り訪問を行う。

安心安全カード周知・啓発事業

自分自身の情報(困ったときの連絡先、避難場所、かかりつけ医、いつも飲んでる薬など)を記入しておくことにより、「いざ」というときに自分自身の安全を守るとともに、地域での助け合いの輪を広げることに関与するカードを区民に対して広く周知・啓発を行う。

10. 浪速区

1. 浪速区プロフィール

特徴	浪速区は大阪市のほぼ中央に位置し、堺、和泉、和歌山、神戸、奈良方面への交通路にあたるなど立地条件に恵まれ、古くから中小商工業地域として発達してきた。長い歴史をもつ「大阪木津卸売市場」、「でんでんタウン」などの商業地域もあり、大阪のシンボル「通天閣」・「ジャンジャン横丁」がある新世界など、庶民の町として親しまれている。一方、関西国際空港や地方都市をつなぐ交通拠点と商業機能を持つ「湊町リバープレイス」、都会のオアシスとしての魅力を備えた「なんばパークス」など、賑わいを見せている。今宮戎神社など由緒ある神社仏閣も数多くあり、文化教育スポーツ施設も充実し、国際化・情報化に向けた新しい魅力ある街として飛躍を目指している。
トピックス	浪速区では、「賑わいと活力に満ち溢れるまちの創造」、誰もが「住みたい」「住み続けたい」まちの実現を目標に、区民の安全・安心を担う総合拠点として、区民の信頼を確保すること、活力ある地域づくりのため、地域活動を支える「かなめ」となって区民等を総合的に支援するといった使命を掲げている。

2. 統計からみる浪速区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	72,350 人	22	面積	4.39 km ²	24
人口密度	16,481 人/km ²	6	世帯数	49,925 世帯	15

高齢化指標

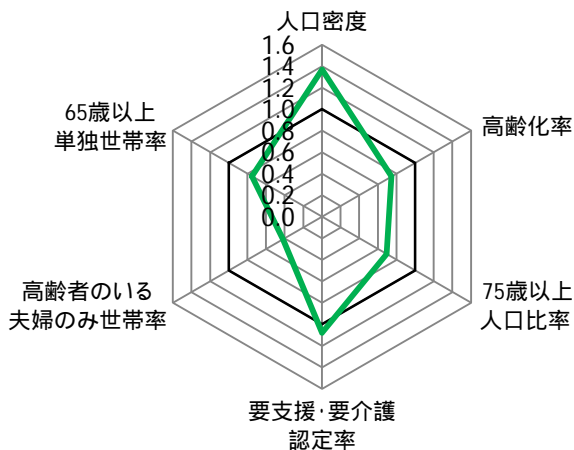
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	13,859 人	24	高齢化率	19.2%	21
65～74 歳人口	7,372 人	24	75 歳以上人口	6,487 人	24
65～74 歳人口比率	10.2%	20	75 歳以上人口比率	9.0%	22
要介護認定者数 ¹ (認定率)	3,340 人 26.5%	21 5	認知症高齢者数(65 才以上) ²	839 人	20
65 歳以上単独世帯数 ³ (世帯率)	5,303 世帯 11.2%	19 19	認知症高齢者数(75 才以上) ²	668 人	22
			65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	1,723 世帯 3.6%	24 24

1：平成 29 年 9 月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年 4 月 1 日現在）

3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

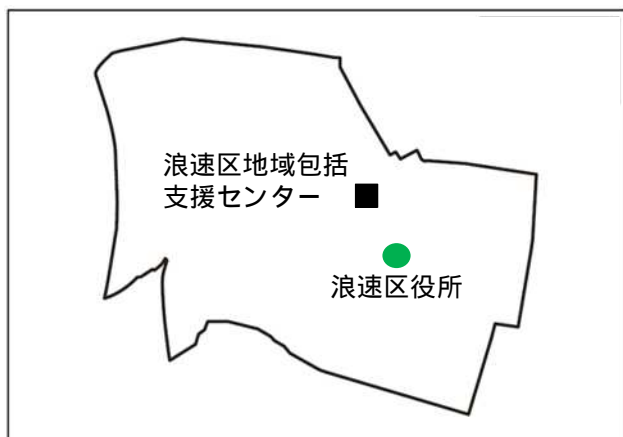
浪速区の水準（大阪市 = 1 とした指数）



浪速区の高齢化の特徴

高齢化率は 19.2% と低く、24 区中 21 位である。
 65～74 歳人口比率は 20 位、75 歳以上人口比率は 22 位と低い。
 認定率は 26.5% で 5 位となっている。
 65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯率が 3.6% と市内で最も低い。
 大阪市平均に比べて各指標の人口比率・世帯率は低く、比較的高齢化が進んでいない区域であるが、認定率は高めである。

3. 浪速区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

区社会福祉協議会に、福祉専門職のワーカーや要援護者名簿に係る同意確認の調査員を配置した「見守り相談担当」を設置し、地域におけるきめ細やかな見守りネットワークの実現を図っている。

要援護者名簿登録にかかる本人同意確認・名簿整備等

「見守り支援ネットワーカー」による孤立世帯等への専門的対応

「認知症高齢者見守りネットワーク」による徘徊者保護の強化

5. 地域資源情報

地域資源の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	1 か所	連合町会数（H27 国勢調査）	11 団体
総合相談窓口（ランチ）	3 か所	民生委員・児童委員	124 人
老人クラブ数	16 団体		

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	63	介護老人福祉施設	4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	11			地域密着型通所介護	9
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	2	認知症対応型通所介護	1
通所介護	9			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	2			認知症対応型共同生活介護	4
福祉用具貸与	11	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	5			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	2			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	2				
居宅介護支援	45				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	1 か所	在宅療養支援歯科診療所	11 か所
在宅療養支援診療所	17 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	41 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

医療・介護連携システム（A ケアカード）の構築

浪速区在宅連携協議会が進める A ケアカードシステムは、医療と介護現場の多職種（医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャー）で保有している患者（利用者）の情報を相互に共有するシステムで、平成 28 年 11 月に運用開始した。ICT を活用し、各現場の端末機器で最新の医療・介護情報を確認することにより、利用者に最も適した医療・介護サービスを速やかに提供する。国が推進する「地域包括ケアシステム」の多職種連携のひとつとして、将来的に多様な支援の一体化を目指すものである。普及・利用の促進のため、浪速区が協力団体となって、広報面での支援を行っている。具体的には、区広報誌への定期的な記事の掲載と在宅医療・介護連携推進事業の一環としてリーフレット等の作成を行っている。また、協力団体として、浪速区在宅連携協議会の定例会へ傍聴者として出席し、また参加団体間のメーリングリストに加入することにより、状況の把握と連携に努めている。

・浪速区在宅連携協議会の参加団体

浪速区医師会・浪速区歯科医師会・浪速区薬剤師会・浪速区内訪問看護ステーション・浪速区居宅介護支援事業者連絡会

11. 西淀川区

1. 西淀川区プロフィール

特徴	西淀川区は明治・大正・昭和の初期にかけ、水運の発達や鉄道・道路・橋梁などの急速な整備に伴い、紡績・機械・金属・鉄鋼・化学といった近代工業が集中し一大工業地帯を形成した。しかし、これらの工業地帯は一方では大気汚染の発生源となり、当区に深刻な公害問題を生じさせたが、いち早く発生源対策を鋭意推進してきた結果、一定の成果をあげた。また、河川汚濁のはげしかった大野川・中島大水道も市民生活の環境改善を図るため、緑あふれる緑陰道路として再生され、広く区民の憩いの場・健康づくりの場として活用されている。
トピックス	各地域における高齢者等の要介護者に対して地域住民自らが継続的・日常的に見守る仕組み（見守りネット倶楽部）を構築し、地域からの孤立を防ぎ、安全・安心して暮らし続けることのできる福祉コミュニティ豊かな街づくりを目指している。

2. 統計からみる西淀川区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	95,518 人	16	面積	14.22 km ²	4
人口密度	6,717 人/km ²	22	世帯数	43,985 世帯	18

高齢化指標

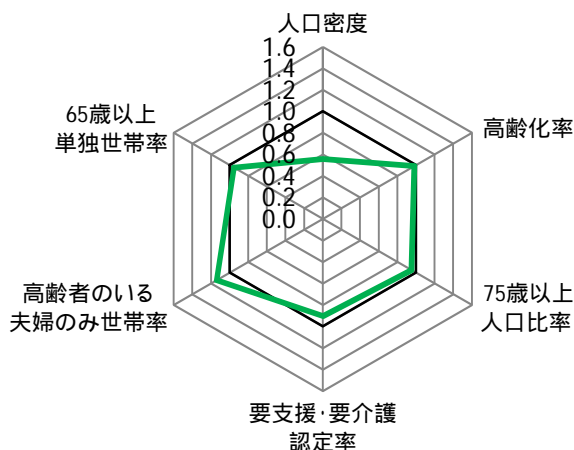
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	24,147 人	15	高齢化率	25.3%	14
65～74 歳人口	12,414 人	14	75 歳以上人口	11,734 人	14
65～74 歳人口比率	13.0%	11	75 歳以上人口比率	12.3%	14
要介護認定者数 ¹ (認定率)	5,386 人	14	認知症高齢者数(65才以上) ²	1,221 人	15
	22.2%	16	認知症高齢者数(75才以上) ²	1,088 人	16
65 歳以上単独世帯数 ³ (世帯率)	6,090 世帯	14	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	4,227 世帯	13
	14.2%	13		9.9%	10

1：平成 29 年 9 月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年 4 月 1 日現在）

3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

西淀川区の水準（大阪市 = 1 とした指数）



西淀川区の高齢化の特徴

高齢化率は 25.3% と 24 区中 14 位である。

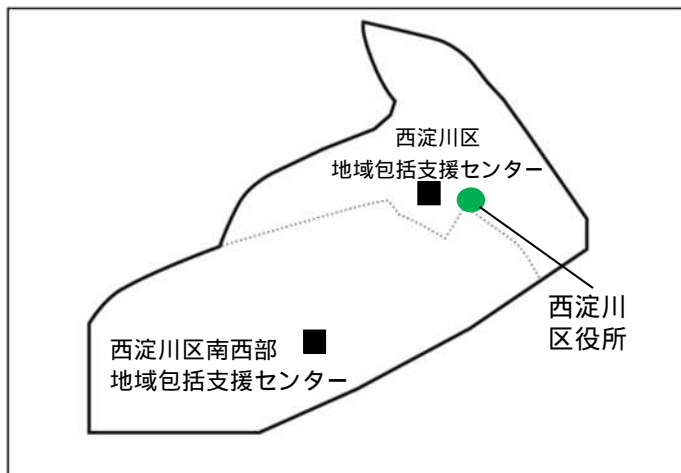
65～74 歳人口比率は 11 位、75 歳以上人口比率は 14 位と平均的である。

65 歳以上単独世帯率は市水準に近く 13 位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は大阪市平均を若干上回り 10 位である。

認定率は 16 位と、市水準よりやや低めになっている。

比較的高齢化が進行していない区域である。

3. 西淀川区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

活力ある地域社会に向けて、地域活動協議会が互いに切磋琢磨し、区全体で発展していけるような地域活動への支援を行っている。また、地域での「つながり」「きずな」の大切さを実感する取組みを行っている。

地域活動協議会の自立運営を推進するために、引き続き中間支援組織を効果的に活用し、地域団体間の連携・協働、開かれた組織運営、会計の透明性確保、ICTを利用した情報発信や広報による地域情報の効果的な発信、地域における担い手確保や人材育成、自主財源の獲得に向けた情報提供等の支援を行っている。

5. 地域資源情報

地域資源の状況（平成29年3月31日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	2 箇所	連合町会数（H27 国勢調査）	14 団体
総合相談窓口（ランチ）	2 箇所	民生委員・児童委員	141 人
老人クラブ数	18 団体		

主な介護保険事業者・施設の状況（平成29年9月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	52	介護老人福祉施設	5	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	2			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	14			地域密着型通所介護	17
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	5	認知症対応型通所介護	3
通所介護	14			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	6			認知症対応型共同生活介護	7
福祉用具貸与	8	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	5			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
短期入所療養介護	5			複合型サービス	1
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	38				

在宅医療の状況（平成29年10月1日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	2 箇所	在宅療養支援歯科診療所	8 箇所
在宅療養支援診療所	24 箇所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	42 箇所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

地域における要介護者の見守りネットワーク強化事業
 上記事業の中で、区独自に「地域福祉活動支援コーディネーター」を各地域に配置し、支援者の名簿を整理し、日常的・定期的な見守り活動を行っている。

区内関係者会議の開催（西淀川区支え合う安心安全連絡会）。

警察、消防署、区役所、区社会福祉協議会、地域包括支援センターが定期的に連絡会を開催し、情報交換するなど連絡を密にし、区内の高齢者の支援を行っている。

12. 淀川区

1. 淀川区プロフィール

特徴	淀川区は市内北部を貫流する淀川の北岸に位置し、東は東淀川区、西は西淀川区、南は北区、北は吹田、豊中、尼崎の3市にそれぞれ隣接している。古くから、交通の要衝として栄え、新大阪駅の設置、地下鉄御堂筋線の延伸により、また、大規模な区画整理による近代的な都市づくりが進められたことにより、めざましく発展してきた。近年では都心へのアクセスとなるJR東西線が開通し、加島駅が設置されるなど鉄道整備も進んできた。区内の産業は、卸・小売業、飲食店を中心とする商業活動が主であるが、機械器具製造業、金属製品製造業を中心とする工業活動も盛んであり、商・工業活動とも常に本市の上位を占めており、将来性豊かな、活気と魅力にあふれた区である。
トピックス	淀川区では、平成14年5月には、十三市民病院が、高度な医療設備と最良の医療環境を兼ね備えた地域の「中核病院」として野中北二丁目にオープンした。都市環境の整備が図られるとともに、高齢社会に備え高齢者福祉施設も順次建設されるなど、安心して住みよいまちづくりへと進展しつつある。

2. 統計からみる淀川区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	179,136人	2	面積	12.64 km ²	6
人口密度	14,172人/km ²	13	世帯数	97,988世帯	1

高齢化指標

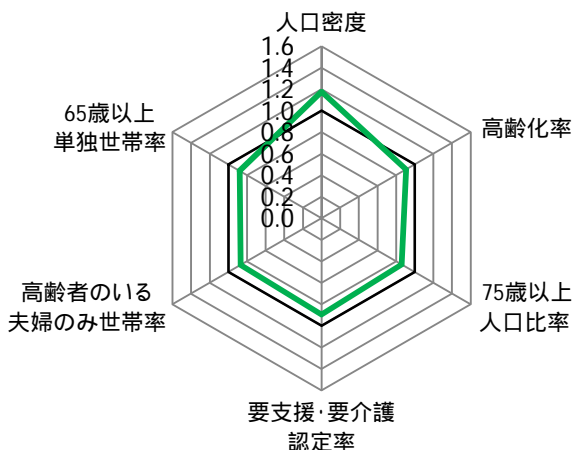
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	41,847人	6	高齢化率	23.4%	17
65～74歳人口	21,944人	3	75歳以上人口	19,903人	7
65～74歳人口比率	12.2%	17	75歳以上人口比率	11.1%	18
要介護認定者数 ¹ (認定率)	8,981人 22.0%	8 20	認知症高齢者数(65才以上) ²	1,951人	8
65歳以上単独世帯数 ³ (世帯率)	12,351世帯	4	認知症高齢者数(75才以上) ²	1,715人	8
	13.1%	16	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	7,076世帯 7.5%	5 17

1：平成29年9月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

淀川区の水準（大阪市 = 1とした指数）



淀川区の高齢化の特徴

高齢化率は23.4%と24区中17位である。

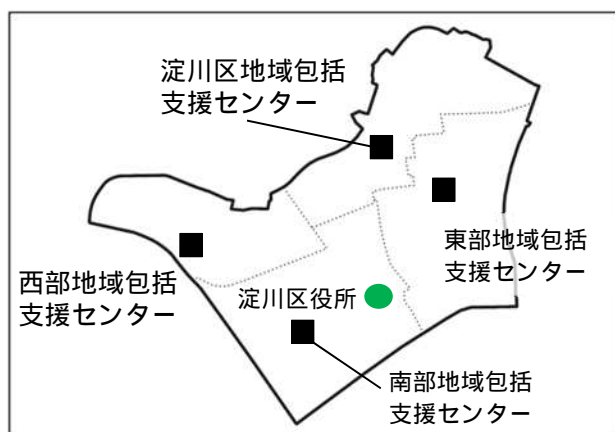
65～74歳人口比率は17位、75歳以上人口比率は18位である。

65歳以上単独世帯率は16位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は17位である。

認定率は20位となっている。

各指標の水準が、全体的に大阪市平均に比べて低く、比較的、高齢化はあまり進んでいない区域である。

3. 淀川区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

区は、区民の日常生活の安全・安心を担う総合拠点としての役割、活力ある地域社会づくりに向けた自律的な地域運営を支援する役割を担う。「安全・安心に暮らせるまち」を経営課題として、多様な主体が参画する訓練など「自助」「共助」の取り組みを促進している。

地域コミュニティが希薄になりつつある現状において、地域の助け合い、ささえ合いの体制づくり、地域福祉の担い手づくりに取り組んでいる。

5. 地域資源情報

地域資源の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	4 か所	連合町会数（H27 国勢調査）	18 団体
総合相談窓口（ランチ）	3 か所	民生委員・児童委員	226 人
老人クラブ数	25 団体		

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	91	介護老人福祉施設	7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	4			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	19			地域密着型通所介護	32
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	2	認知症対応型通所介護	6
通所介護	22			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	4			認知症対応型共同生活介護	14
福祉用具貸与	19	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	8			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
短期入所療養介護	2			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	8				
居宅介護支援	71				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	1 か所	在宅療養支援歯科診療所	26 か所
在宅療養支援診療所	30 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	75 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

地域見守り活動サポート事業

平成 29 年度から、淀川区社協内の見守り相談室に、4 つの地域包括圏域ごとに担当するコミュニティソーシャルワーカーを増員し配置した 18 地域の調査員等の協力のもと、毎年各地域でワークショップを開催するなど、連携しながら地域における要援護者の見守り体制構築に取り組んでいる。

講演会・イベントや広報誌などによる認知症予防普及・啓発

専門医による講演会、健康 & 食育フェスタ等イベント、広報誌に隔月で「認知症発症予防と生活習慣病の改善」をテーマに記事を連載するほか、啓発リーフレットを作成・配布により認知症予防啓発を実施している。

いきいき百歳体操

区内の百歳体操の開催状況を把握し、9 月高齢者月間には広報誌に取り組み状況などの掲載を行っている。また、健康づくり推進協議会と連携しながらボランティア対象の交流会を年 1 回開催している。

13. 東淀川区

1. 東淀川区プロフィール

特徴	東淀川区は大阪市の最北端に位置し、淀川・神崎川・安威川の大きな河川に囲まれ、吹田・摂津・守口の3市に隣接している。かつての農村地帯から、現在では市内で人口が3番目に多い区へと発展し、平成27年4月には区政90周年を迎えた。平成18年に「地下鉄今里筋線」が開業、現在は、阪急電鉄淡路駅周辺で連続立体交差事業（2027年度完成予定）や大阪外環状鉄道の整備事業（JRおおさか東線）（2019年春完成予定）幹線道路や駅前の整備が進められ、大きくまちの姿が変わっていくところである。
トピックス	東淀川区では、平成以降「東淀川スポーツセンター」、「東淀川屋内プール」、「くにじまスポーツ」、「東淀川区在宅サービスセンター（ほほえみ）」、「淡路地域福祉・生活支援センター」がオープンしている。 平成28年12月に策定した東淀川区地域保健福祉計画に基づき、地域や行政をはじめ、地域に関わる全ての人の力をあわせて、支え合い、助け合う「自助」・「共助」・「公助」の考え方を理解して実践していくことで「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」のまちづくりをめざしている。

2. 統計からみる東淀川区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	175,827人	3	面積	13.27 km ²	5
人口密度	13,250人/km ²	15	世帯数	95,174世帯	2

高齢化指標

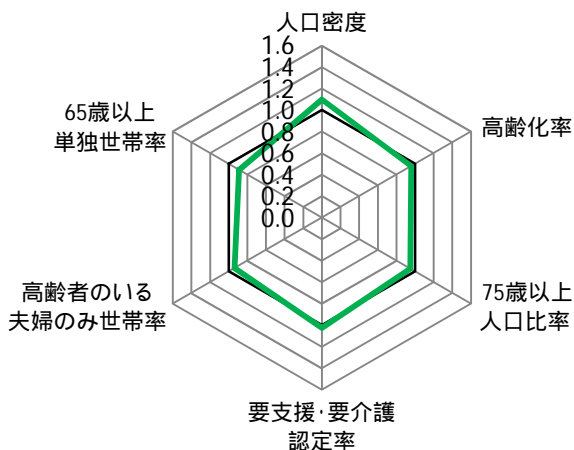
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	43,414人	3	高齢化率	24.7%	15
65～74歳人口	21,874人	4	75歳以上人口	21,540人	4
65～74歳人口比率	12.4%	15	75歳以上人口比率	12.3%	15
要介護認定者数 ¹ (認定率)	10,521人	5	認知症高齢者数(65才以上) ²	3,050人	3
	25.2%	8	認知症高齢者数(75才以上) ²	2,598人	3
65歳以上単独世帯数 ³ (世帯率)	12,219世帯	5	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	7,480世帯	3
	13.2%	15		8.1%	16

1：平成29年9月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

東淀川区の水準（大阪市＝1とした指数）



東淀川区の高齢化の特徴

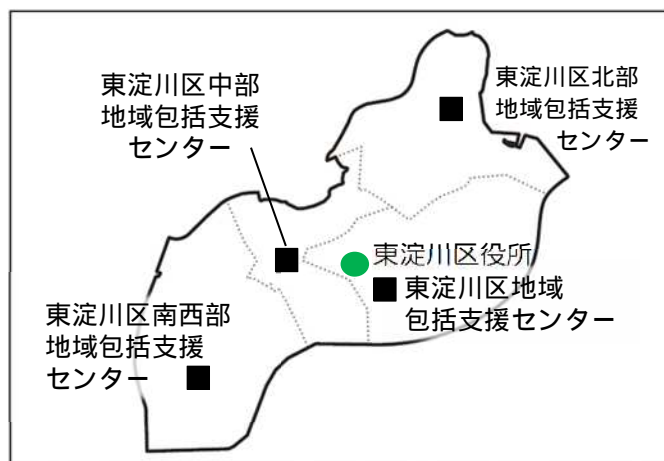
高齢化率は24.7%と24区中15位である。

65～74歳人口比率と75歳以上人口比率も15位と同位である。

65歳以上単独世帯率は15位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は16位となっている。

各指標の水準が、全体的に大阪市平均に比べて若干低い区域であるが、認定率は8位とやや高くなっている。

3. 東淀川区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」に向けて、地域力の向上をめざすとともに、誰もが安心して健康でこころ豊かに生き生きと暮らし、人権が尊重され、災害に強く安全かつ安心な、快適で活力とにぎわいのあるまちづくりを進めている。

地域に関わる全ての人々が力をあわせて、共に生き共に支え合い、地域での「自助」「共助」による地域コミュニティが確立され、誰もが安全・安心してくらするまちづくりを進めている。

5. 地域資源情報

地域資源の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	4 箇所	連合町会数（H27 国勢調査）	17 団体
総合相談窓口（ランチ）	5 箇所	民生委員・児童委員	248 人
老人クラブ数	89 団体		

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	119	介護老人福祉施設	9	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2
訪問入浴介護	3			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	26			地域密着型通所介護	45
訪問リハビリテーション	1	介護老人保健施設	3	認知症対応型通所介護	2
通所介護	30			小規模多機能型居宅介護	7
通所リハビリテーション	5			認知症対応型共同生活介護	14
福祉用具貸与	20	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	9			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	3			複合型サービス	2
特定施設入居者生活介護	7				
居宅介護支援	86				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	1 箇所	在宅療養支援歯科診療所	15 箇所
在宅療養支援診療所	18 箇所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	72 箇所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

地域別保健福祉計画の策定にかかる地域への支援
 だれもが地域で安心して自分らしく暮らしていくために、「自助・共助・公助」それぞれの考え方や役割を明確にしながら、地域の課題解決や特色を活かした地域保健・地域福祉を推進する地域別の保健福祉計画の策定に向けて支援している。

東淀川区ライフステーション事業
 区内に 2 か所の見守りの拠点となるライフステーションを設置し、日常的な生活相談や専門相談、見守りキーホルダー事業などを実施している。

複合課題世帯への支援
 複合課題世帯に対して、区役所各担当が連携し、世帯単位で支援する体制の強化、充実を行っている。

14. 東成区

1. 東成区プロフィール

特徴	東成区は市の東部に位置し、北は城東区、東は東大阪市、南は生野区、西は中央区、天王寺区と接している。主要道路の集まる今里交差点は、当区のほぼ中心に位置し、区役所をはじめ、官公署、各種金融機関が数多く集まり、区の発展の拠点となっている。交通機関は、東西に地下鉄2本、南北に地下鉄1本、市バスも区内7路線、その他JR環状線、近鉄線があり、区民の重要な交通手段となっている。生野区、城東区、鶴見区と共に大阪市東部における工業地帯を形成し地域の発展に大きく貢献してきたが、そのほとんどが中小零細企業である。平成27年4月には、東成区制90周年を迎えた。節目の年を迎え、ますます区民・地域、そして行政が一体となって住みよいまち「ひがしなり」のさらなる発展にむけた取組を進めている。
トピックス	東成区は地域のつながりが強く、さまざまな地域福祉活動が展開されている。高齢者等と地域をつなぐ「おまもりネット事業」は東成区独自の取組みとして区内全域で実施され、成果をあげている。東成区では平成25年度よりこうした地域の取組みを活かして要支援者のセーフティネットの構築を進めるとともに、平成29年2月からはひとり暮らしの高齢者の支援の一環として、関係機関と協働してあらたに緊急時安否確認（かぎ預かり）事業を開始した。（大阪市内では初めての取組み）

2. 統計からみる東成区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	81,881人	18	面積	4.54 km ²	23
人口密度	18,035人/km ²	4	世帯数	41,718世帯	19

高齢化指標

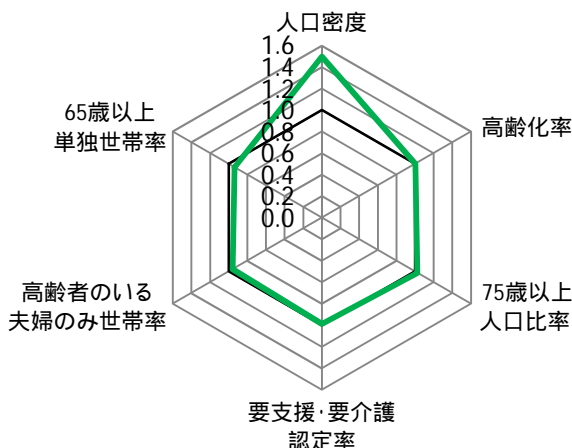
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	21,154人	17	高齢化率	25.8%	11
65～74歳人口	10,324人	17	75歳以上人口	10,830人	17
65～74歳人口比率	12.6%	14	75歳以上人口比率	13.2%	12
要介護認定者数 ¹ (認定率)	5,070人	16	認知症高齢者数(65才以上) ²	1,049人	17
	24.2%	10	認知症高齢者数(75才以上) ²	947人	17
65歳以上単独世帯数 ³ (世帯率)	5,518世帯	16	65歳以上高齢者のいる夫婦 のみ世帯数 ³ (世帯率)	3,282世帯	18
	13.9%	14		8.3%	15

1：平成29年9月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

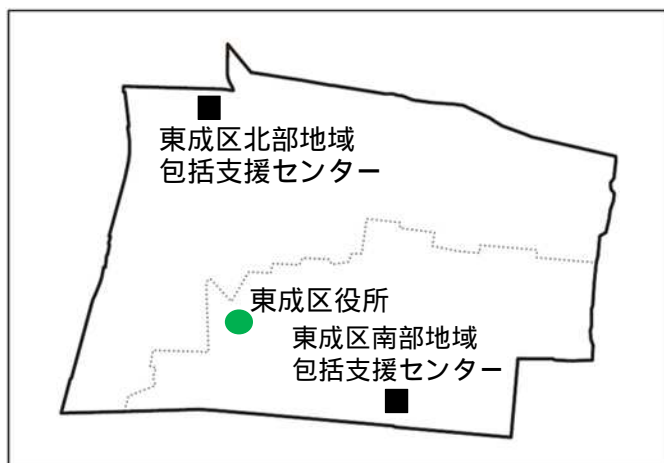
東成区の水準（大阪市＝1とした指数）



東成区の高齢化の特徴

高齢化率は25.8%と24区中11位となっている。
65歳以上単独世帯率は14位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は15位である。
認定率は10位となっている。
各指標により高低はあるものの、高齢化の水準は全体的に大阪市平均に近い。

3. 東成区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

各校下に配置した地域福祉活動サポーターを中心に高齢者食事サービス等の地域福祉活動を実施するとともに、「おまもりネット事業」等により地域のつながりづくり推進している。

だれもが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、在宅医療・介護連携の推進はもとより、多様な主体のネットワークにより「地域包括支援システム」の構築をめざしている。

地域の健康教室やイベントの開催により健康づくりの啓発活動に取り組んでいる。

5. 地域資源情報

地域資源の状況（平成29年3月31日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	2 箇所	連合町会数（H27 国勢調査）	11 団体
総合相談窓口（ランチ）	2 箇所	民生委員・児童委員	133 人
老人クラブ数	20 団体		

主な介護保険事業者・施設の状況（平成29年9月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	67	介護老人福祉施設	4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	2			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	16	介護老人保健施設	3	地域密着型通所介護	27
訪問リハビリテーション	2			認知症対応型通所介護	4
通所介護	14			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	4	介護療養型医療施設	0	認知症対応型共同生活介護	7
福祉用具貸与	9			地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	4			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	3			複合型サービス	1
特定施設入居者生活介護	5				
居宅介護支援	46				

在宅医療の状況（平成29年10月1日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	3 箇所	在宅療養支援歯科診療所	18 箇所
在宅療養支援診療所	35 箇所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	60 箇所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

「おまもりネット事業」を活用した高齢者・障がい者等支援セーフティネット構築事業
 「おまもりネット事業」（地域とのつながりづくりのために各校下で実施している活動で、「おまもりネット手帳」「カード」を無料で発行している。）等の地域福祉活動を支援し、要支援者のセーフティネット構築を進めている。

緊急時安否確認（かぎ預かり）事業

東成区にお住まいのひとり暮らしの高齢者が安心して暮らせるよう、事前にかぎを預かり、緊急時にかぎを使って家屋に入り、安否を確認する。高齢者福祉関係機関との共同体で実施している。

いきいき百歳体操

参加者のモチベーション維持と各自の健康管理を目的に「百歳体操出席手帳」を作成し、出席シールとともに配布している。

15. 生野区

1. 生野区プロフィール

特徴	生野区は大阪市の東南部に位置し、東は東大阪市に、北は近畿日本鉄道を区界に東成区に、西はJR環状線を区界に天王寺区に、南は国道25号線および平野川を区界に阿倍野区、東住吉区、平野区にそれぞれ接しており、区の南北に今里筋と内環状線、東西に勝山通りが通っている。また、文化的には万葉の時代からの歴史や伝承が残されている土地であり、区名の「生野」は聖徳太子ゆかりの「生野長者」にちなんで付けられており、現在もだんじり・地藏盆など地域伝統行事が大切に守られて、下町の良さを残した人情味豊かなまちである。
トピックス	生野区では、少子高齢化の傾向が顕著な地域であり、単身高齢者の増加や児童・生徒数の減少、また製造業の企業数も減少傾向にあるなど、まちの活力が失われつつある一面もあるが、その一方で、古くからのコミュニティがなお生き続けている、あたたかく区民同士の絆やボランティア精神の強い住みやすいまちでもある。生野区では、『居場所』と『持ち場』のあるまちへ」を方針に掲げ、現在の施策の方向性を充実させながら、時には変化に対応しながら、まちの課題解決と未来に向けたまちづくりを進めている。

2. 統計からみる生野区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	129,693人	6	面積	8.37 km ²	13
人口密度	15,495人/km ²	10	世帯数	65,351世帯	8

高齢化指標

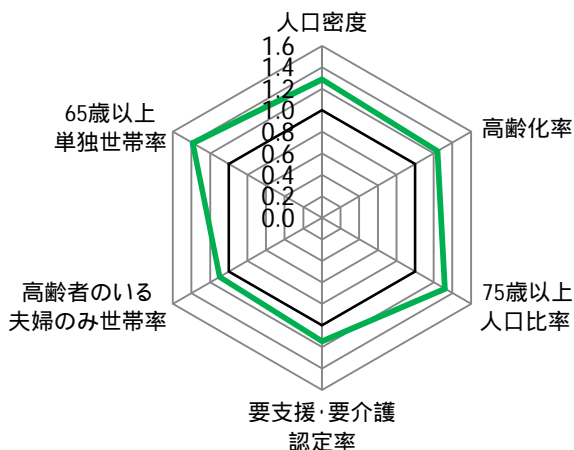
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	41,359人	7	高齢化率	31.9%	2
65～74歳人口	19,299人	7	75歳以上人口	22,059人	3
65～74歳人口比率	14.9%	4	75歳以上人口比率	17.0%	2
要介護認定者数 ¹ (認定率)	10,763人	4	認知症高齢者数(65才以上) ²	2,952人	4
	28.2%	2	認知症高齢者数(75才以上) ²	2,496人	4
65歳以上単独世帯数 ³ (世帯率)	13,108世帯	3	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	6,029世帯	8
	20.6%	2		9.5%	12

1：平成29年9月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

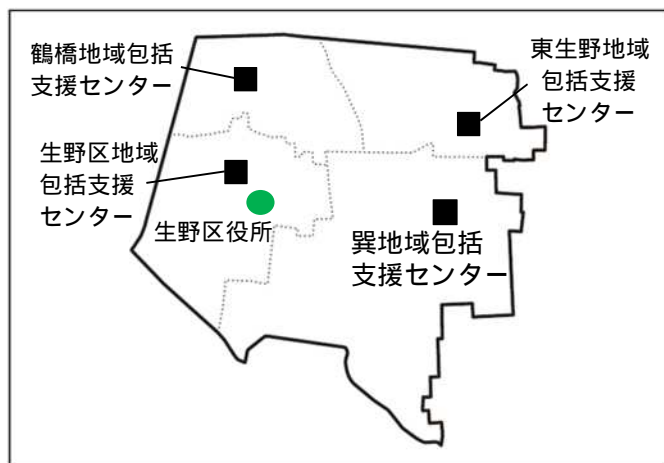
生野区の水準（大阪市 = 1とした指数）



生野区の高齢化の特徴

高齢化率は31.9%と24区中2位となっている。
75歳以上人口比率は17.0%と24区中2位となっている。
65歳以上単独世帯率は24区中2位となっている一方、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は12位と中位にある。
認定率が2位となっている。
各指標の水準が、全体的に大阪市平均を上回っており、高齢化が進んでいる区域である。

3. 生野区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

生野区では、『「居場所」と「持ち場」のまちへ』をキーワードとして、地域包括ケアシステムの構築を進めている。地域住民と支援機関による小圏域会議や多職種が参画する各種会議体と、区地域ケア推進会議との有機的な連携により地域ケア会議を推進している。行政の画一的な制度では対応できず真に支援を必要とする人とボランティアのマッチングを行う「ご近“助”パワフルサポート」事業を展開している。生活支援コーディネーターと協議体との連携により、百歳体操を始めとした高齢者自身が自立的に取り組む「居場所」と「持ち場」を兼ねた社会資源の発掘・創出等の生活支援サービスの充実・強化を進めている。

5. 地域資源情報

地域資源の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	4 か所	連合町会数（H27 国勢調査）	19 団体
総合相談窓口（ランチ）	5 か所	民生委員・児童委員	241 人
老人クラブ数	45 団体		

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	183	介護老人福祉施設	10	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	17			地域密着型通所介護	51
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	5	認知症対応型通所介護	5
通所介護	26			小規模多機能型居宅介護	10
通所リハビリテーション	8			認知症対応型共同生活介護	17
福祉用具貸与	21	介護療養型医療施設	3	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	13			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
短期入療養介護	7			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	12				
居宅介護支援	108				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	5 か所	在宅療養支援歯科診療所	16 か所
在宅療養支援診療所	46 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	79 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

多職種連携による地域包括ケアの推進

認知症高齢者支援ネットワーク会議が中心となり、地域住民への認知症の周知啓発として講演会・シンポジウムの開催や認知症早期発見ツール「STOP DO!」の発行、また、「いくみんお守りキーホルダー」事業の展開など、多職種が連携した独自の取組を行っている。

区民の健康寿命延伸のための意識啓発

いつまでもいきいきと自分らしい生活を送ることができるよう、区民の健康寿命の延伸を目的に、がん検診などの検診の重要性の理解促進や習慣化をめざした生野区マスコット「いくみん」を活用した広報啓発や、区民の健康づくり等の意識の高揚・定着をめざした取組を推進している。

16. 旭区

1. 旭区プロフィール

特徴	旭区は大阪市の東北部に位置し、北に淀川を望み、西に城東貨物線、南に国道163号線、さらに東は守口市とその境を接している。市内でも有名な千林商店街があり、また、市バス路線に加え、地下鉄谷町線や京阪電鉄が都心に直結しており、交通が便利で、生活するのに静かで明るい雰囲気を持つ快適な住宅区である。主要道路交通網としては、淀川ワンドに華麗な斜張橋を映している菅原城北大橋と、その東に位置しこれも斜張橋で有名な豊里大橋が、市北部と都心、市南部を自動車交通で結ぶ要の役割を果たしている。
トピックス	旭区では、地域コミュニティ関連施設も充実し、旧京街道や江野川筋遊歩道の整備が進むとともに、公園景観との調和を図った地下式構造の旭スポーツセンターは、地域スポーツの振興の拠点としてその役割を果たしている。城北川に隣接する地域にある、区民センター、芸術創造館、図書館などを併設した複合施設は、地域コミュニティ活動の拠点として、大きな役割を担っている。さらに、急速に進展する高齢社会に対応するため、保健福祉サービスの総合的・効果的な提供を図る施設である在宅サービスセンターがその拠点として必要なサービスや情報提供を行っている。

2. 統計からみる旭区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	91,069人	17	面積	6.32 km ²	17
人口密度	14,410人/km ²	12	世帯数	44,128世帯	17

高齢化指標

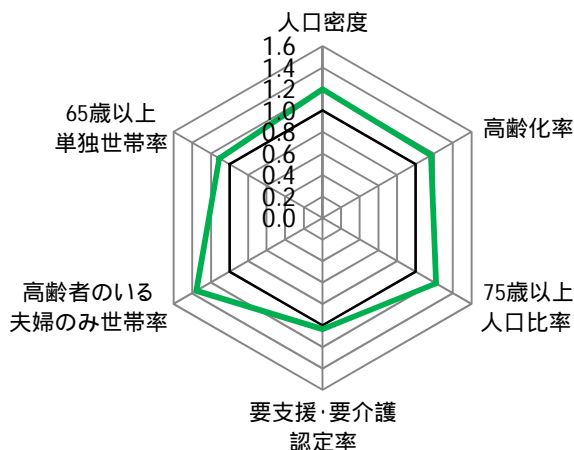
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	27,313人	11	高齢化率	30.0%	4
65～74歳人口	12,982人	13	75歳以上人口	14,330人	11
65～74歳人口比率	14.3%	5	75歳以上人口比率	15.7%	3
要介護認定者数 ¹	6,881人	11	認知症高齢者数(65才以上) ²	1,615人	9
(認定率)	25.4%	7	認知症高齢者数(75才以上) ²	1,436人	9
65歳以上単独世帯数 ³	7,212世帯	11	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	5,124世帯	9
(世帯率)	16.5%	7		11.7%	3

1：平成29年9月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

旭区の水準（大阪市＝1とした指数）



旭区の高齢化の特徴

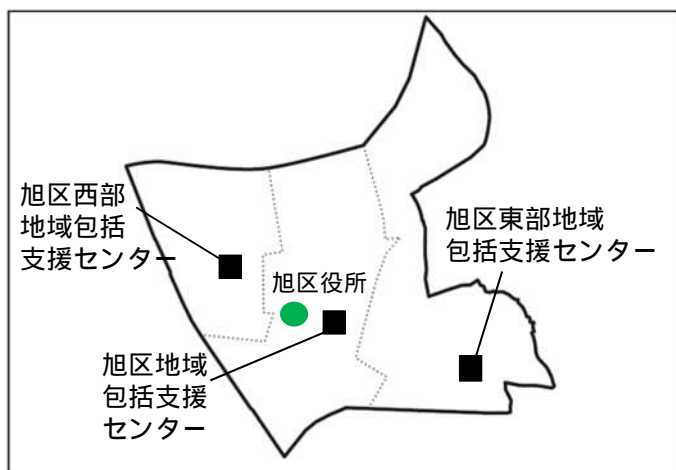
高齢化率は30.0%と24区中で4位である。65～74歳人口比率は5位であるが、75歳以上人口比率は3位である。

65歳以上単独世帯率は7位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は3位となっている。

認定率は7位である。

各指標の水準が、全体的に大阪市平均に比べて高く、高齢化が進行している区域である。

3. 旭区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

活力ある地域社会づくりをめざし、地域の様々な活動主体と協働して、「安全で安心できる旭区づくり」「元気で活力ある旭区づくり」「やさしくて、あたたかい旭区づくり」を推進している。高齢者の介護予防を地域住民とともに「いきいき百歳体操」を活用し、身近な地域で継続的に実施している。身体を鍛え、頭を使う認知症予防プログラムを活用し、区民に働きかけている。高齢者自らも担い手となり、支援するための講座開催に取り組んでいる。

5. 地域資源情報

地域資源の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	3 箇所	連合町会数（H27 国勢調査）	10 団体
総合相談窓口（ランチ）	2 箇所	民生委員・児童委員	139 人
老人クラブ数	62 団体		

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	78	介護老人福祉施設	7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	10			地域密着型通所介護	25
訪問リハビリテーション	1	介護老人保健施設	4	認知症対応型通所介護	2
通所介護	23			小規模多機能型居宅介護	3
通所リハビリテーション	4			認知症対応型共同生活介護	6
福祉用具貸与	12	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	7			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	4			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	50				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	3 箇所	在宅療養支援歯科診療所	12 箇所
在宅療養支援診療所	33 箇所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	44 箇所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

健康に関する取組み
健康フェスタ・食育フェスタの開催や、区民まつりにおいて「明日への健康コーナー」で生活習慣病予防及び重症化予防の啓発、また、振興町会等と連携し、不定期に健康講座を実施している。

いきいき百歳体操の推進
いきいき百歳体操は、平成 21 年からスタートし、年 1 回「旭区いきいき百歳体操だより」を発行し、全体交流会を開催している。また、90 歳以上の参加者に表彰を行い、参加者の意欲向上の取組みを行っている。

認知症予防のための講演会・普及・啓発の実施
平成 26 年から認知症予防のための市民啓発として認知症予防講演会、自主的な認知症予防活動支援のための地域型認知症予防プログラム等を実施している。

高齢者への歯科健康診査事業
旭区歯科医師会と協働で寝たきり高齢者への歯科健康診査事業を平成 29 年 10 月からスタートし、実施している。

17. 城東区

1. 城東区プロフィール

特徴	<p>城東区は大阪城の東に位置し、地勢的には東部の低湿地帯である旧大和川流域に属し、標高 1～2m と区域全般に低く平坦で、東西に寝屋川と第二寝屋川が流れ、南北に城北川、平野川、平野川分水路が通じるなど、河川が多く、他区にない特徴を示している。鉄道交通網では地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線・今里筋線・中央線、JR 学研都市線、京阪電鉄の各鉄道が区内を走っている。</p> <p>近年では区内各地区で工場等の転出跡地などに高層集合住宅や大規模小売店が相次いで建設されるなど、生活・交通至便な住宅地へと変化している。</p>
トピックス	<p>城東区では、今後も、公共交通機関の一層の充実、水辺環境整備、緑化の推進などによって、職・住のバランスのとれた区として発展が期待される。区の目標は「城東区に住んでよかったと思えるまち～人が輝き活気にあふれ、まちに愛着があること～」であり、老若男女、障がい者、外国人など、すべての人が気持ちよく住めるまち、近所づきあい、つながり、きずながあるまち、生きがいを持って暮らし、ふるさと城東区をほこりと思えるまち、すべての人が、安全で安心して暮らせるまちをめざしている。</p>

2. 統計からみる城東区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	166,242 人	4	面積	8.38 km ²	12
人口密度	19,838 人/km ²	1	世帯数	78,478 世帯	4

高齢化指標

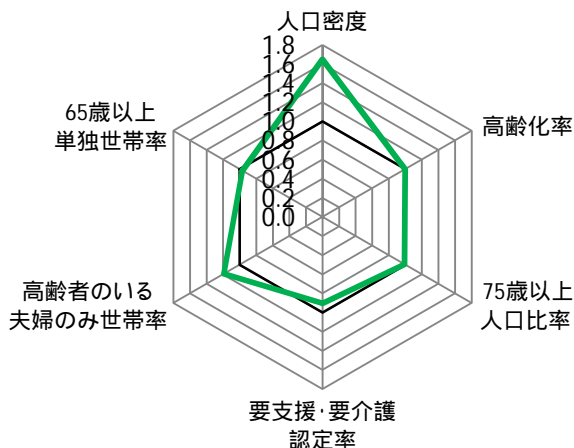
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	42,650 人	4	高齢化率	25.7%	13
65～74 歳人口	21,401 人	5	75 歳以上人口	21,250 人	5
65～74 歳人口比率	12.9%	12	75 歳以上人口比率	12.8%	13
要介護認定者数 ¹	9,531 人	7	認知症高齢者数(65 才以上) ²	1,965 人	7
(認定率)	22.2%	17	認知症高齢者数(75 才以上) ²	1,751 人	7
65 歳以上単独世帯数 ³	10,967 世帯	7	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	7,855 世帯	2
(世帯率)	14.4%	12		10.3%	7

1：平成 29 年 9 月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年 4 月 1 日現在）

3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

城東区の水準（大阪市 = 1 とした指数）



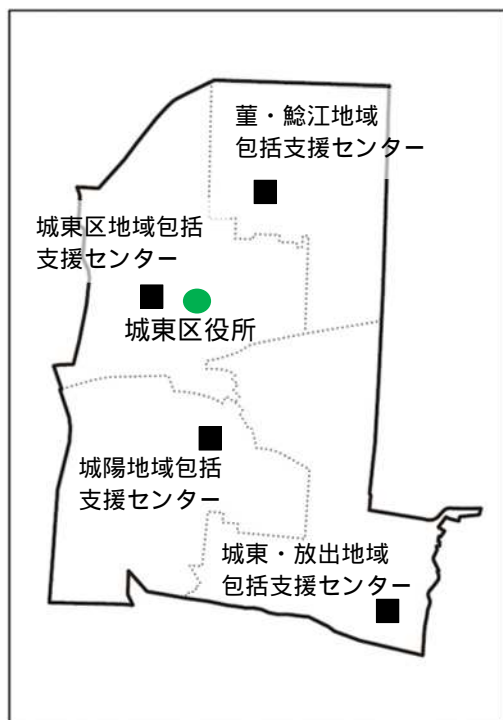
城東区の高齢化の特徴

高齢化率は 25.7% と大阪市平均に近く、13 位である。

65 歳以上単独世帯率は 12 位と平均的であるが、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は 7 位となっている。認定率は 17 位と低い方である。

高齢化率、75 歳以上人口比率の水準は平均的な一方で、高齢者のいる夫婦のみ世帯率が高い地域となっている。

3. 城東区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

地域における見守りの取り組みや、地域包括ケアシステムの構築については、地域や関係機関と連携を深めながら順調に進捗しており、めざすべき将来像の実現に向け、取り組みを進めている。区内の医療・介護関係機関が相互に顔の見える関係を築くため、個別事例を踏まえ各職種がそれぞれの役割や職種間連携方法について協議する研修会を企画・実施している。区民を対象に、地域包括ケアシステムに関する意識啓発を図るための講演会を企画・実施している。

5. 地域資源情報

地域資源の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数
地域包括支援センター	4 か所
総合相談窓口（ランチ）	2 か所
老人クラブ数	61 団体
連合町会数（平成 27 年国勢調査）	16 団体
民生委員・児童委員	210 人

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	93	介護老人福祉施設	5	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	2			夜間対応型訪問介護	1
訪問看護	17			地域密着型通所介護	29
訪問リハビリテーション	1	介護老人保健施設	4	認知症対応型通所介護	4
通所介護	17			小規模多機能型居宅介護	2
通所リハビリテーション	10			認知症対応型共同生活介護	11
福祉用具貸与	8	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	5			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	4			複合型サービス	1
特定施設入居者生活介護	3				
居宅介護支援	68				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	3 か所	在宅療養支援歯科診療所	16 か所
在宅療養支援診療所	56 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	74 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

「いきいき・かみかみ百歳体操」推進の取組み
 いきいき・かみかみ百歳体操サポーター講座（4 回）といきいき・かみかみ百歳体操サポーターパワーアップ講座（年 2 回）を実施し、各会場との交流会を行っている。また、毎年開催している健康まつり（健康展）において 90 歳以上の継続参加者を表彰する等モチベーションの維持・向上の取組みを行っている。また、各拠点継続支援のため、咀嚼力判定や出席手帳配付、「いきいき百歳体操通信」発行の取組みを行っている。

18. 鶴見区

1. 鶴見区プロフィール

特徴	鶴見区は大阪市の最東部に位置し、西を城東区、北西を旭区、北を守口市と接し、北東を門真市、東を大東市、南を東大阪市と城東区に接している。花の万博以降、目覚ましい発展をとげ、中・高層住宅の建設、地下鉄鶴見緑地線の東西延伸、JR 東西線開通、東野田茨田線の拡幅事業、JR 放出駅周辺地区の土地区画整理事業などが進捗し、農地の広がるまちから都市基盤が整備された便利なまちへと変貌を遂げ、平成 10 年 7 月には人口が 10 万人を突破した。"国際都市大阪"の東西の発展軸上の東の区として、今後、ますますの飛躍が期待されている。
トピックス	鶴見区にある鶴見緑地では花の万博終了後順次整備が進められ、「咲くやこの花館」をはじめ、豊かな自然の中でスポーツ・レクリエーション・文化活動等幅広く利用できる市民の憩いの場として、「UNEP 国際環境技術センター」「鶴見スポーツセンター」「鶴見緑地プール」「運動場」「球技場」「自然体験観察園」等がオープンしている。近くには「花の卸売市場」日本初の「スノーピータウン」「ファクトリーアウトレット」の 3 つの施設が一体となった「鶴見はなぼーとプロッサム」も開設されている。

2. 統計からみる鶴見区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	111,563 人	10	面積	8.17 km ²	14
人口密度	13,655 人/km ²	14	世帯数	47,076 世帯	16

高齢化指標

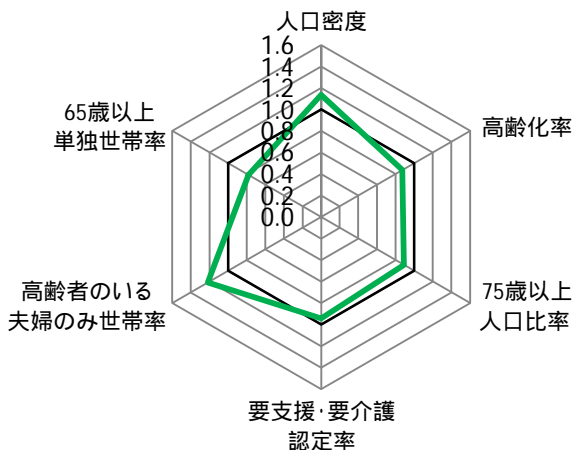
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	25,080 人	13	高齢化率	22.5%	18
65～74 歳人口	12,251 人	15	75 歳以上人口	12,828 人	12
65～74 歳人口比率	11.0%	18	75 歳以上人口比率	11.5%	17
要介護認定者数 ¹	5,760 人	12	認知症高齢者数(65 才以上) ²	1,460 人	11
(認定率)	23.2%	14	認知症高齢者数(75 才以上) ²	1,315 人	11
65 歳以上単独世帯数 ³	5,374 世帯	18	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	4,869 世帯	11
(世帯率)	11.6%	18		10.5%	6

1：平成 29 年 9 月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年 4 月 1 日現在）

3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

鶴見区の水準（大阪市 = 1 とした指数）



鶴見区の高齢化の特徴

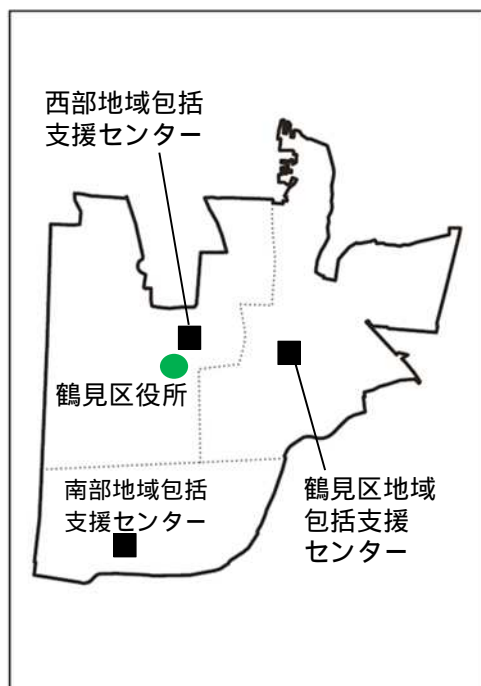
高齢化率は 22.5% と 24 区中 18 位であり、65～74 歳人口比率も 18 位、75 歳以上人口比率は 17 位である。

65 歳以上単独世帯率が 18 位の一方、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は 6 位である。

認定率は 14 位で、市平均を若干下回る。

人口からみた高齢化水準は市平均を下回るが、高齢者のいる世帯水準をみると、単独は低く、夫婦のみ世帯率は高い地域である。

3. 鶴見区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

こどもから高齢者まで、鶴見区で暮らすすべての人が地域や身近な人々と「つながり、ふれあい、見守り、支え合う、だれもが安心して暮らせるまち」の実現を目指している。住民主体の地域福祉ネットワーク推進事業を進め、地域住民からの相談受付や、生活課題等の解決につなげている。地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業と連携を図り、要援護者の把握や日頃からの見守り活動の強化を図っている。

5. 地域資源情報

地域の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区 分	件 数
地域包括支援センター	3 か所
総合相談窓口（ランチ）	2 か所
老人クラブ数	26 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	12 団体
民生委員・児童委員	122 人

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	56	介護老人福祉施設	8	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	3			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	13			地域密着型通所介護	17
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	3	認知症対応型通所介護	1
通所介護	15			小規模多機能型居宅介護	3
通所リハビリテーション	7			認知症対応型共同生活介護	6
福祉用具貸与	8	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	9			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
短期入所療養介護	4			施設入居者生活介護	1
特定施設入居者生活介護	6			複合型サービス	1
居宅介護支援	47				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区 分	件 数	区 分	件 数
在宅療養支援病院	3 か所	在宅療養支援歯科診療所	7 か所
在宅療養支援診療所	20 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	40 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

住民主体の地域福祉ネットワーク活動推進事業
 住民の身近な相談窓口として各地域に地域福祉コーディネーター（つなげ隊）を配置し、そのつなげ隊への助言等の支援や情報提供、地域有償ボランティア事業「あいまち」を運営するコミュニティソーシャルワーカーを配置するとともに、地域福祉活動への支援をおこなう。また、地域住民が主体となって取り組む地域福祉活動の推進や、地域ネットワークの構築、活性化を図りつつ、地域福祉活動の担い手の発掘・育成にも努めている。本事業を推進するにあたっては、「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」と連携を図り、要援護者の把握や日頃からの見守り活動の強化に努めるとともに、保健師や生活支援コーディネーターとも連携し、いきいき百歳体操をはじめとした集いの場作りも進めている。

19 . 阿倍野区

1 . 阿倍野区プロフィール

特徴	阿倍野区は上町台地の南の高台に位置し、古くから大阪南部の交通の要衝として栄え、名所・史跡も多く、住宅・商業の町として発展してきた。とりわけ阿倍野橋・天王寺は、大阪の南の玄関口として各種の交通機関が集結し、多数の乗降客が行き交うターミナルである。周辺一帯は、活気のある商業地区を形成しており、阿倍野再開発事業により、平成 23 年 4 月には大阪府内最大級のショッピングセンターがオープンした。区域全体としては、比較的閑静な住宅地として発展してきた。
トピックス	誰もが住みたい、住み続けたいまち「あべの」の実現に向けて、区将来ビジョンの1つに「地域で支えあい、誰もが幸せに暮らせるまち」を掲げ、関係機関等と連携し、地域福祉や健康づくりに関する課題解決に取り組んでいる。

2 . 統計からみる阿倍野区の状況（基準日：平成 29 年 10 月 1 日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	108,642 人	12	面積	5.98 km ²	19
人口密度	18,168 人/km ²	3	世帯数	51,145 世帯	14

高齢化指標

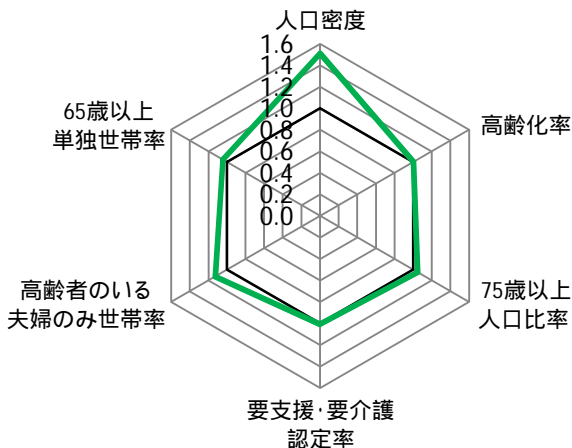
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65 歳以上人口	28,041 人	10	高齢化率	25.8%	12
65～74 歳人口	13,321 人	11	75 歳以上人口	14,720 人	10
65～74 歳人口比率	12.3%	16	75 歳以上人口比率	13.5%	10
要介護認定者数 ¹ (認定率)	6,883 人	10	認知症高齢者数(65 才以上) ²	1,279 人	14
	24.7%	9	認知症高齢者数(75 才以上) ²	1,166 人	13
65 歳以上単独世帯数 ³ (世帯率)	7,780 世帯	10	65 歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	4,880 世帯	10
	15.5%	9		9.7%	11

1：平成 29 年 9 月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成 29 年 4 月 1 日現在）

3：国勢調査「65 歳以上の世帯員のいる世帯」（平成 27 年 10 月 1 日現在）

阿倍野区の水準（大阪市 = 1 とした指数）



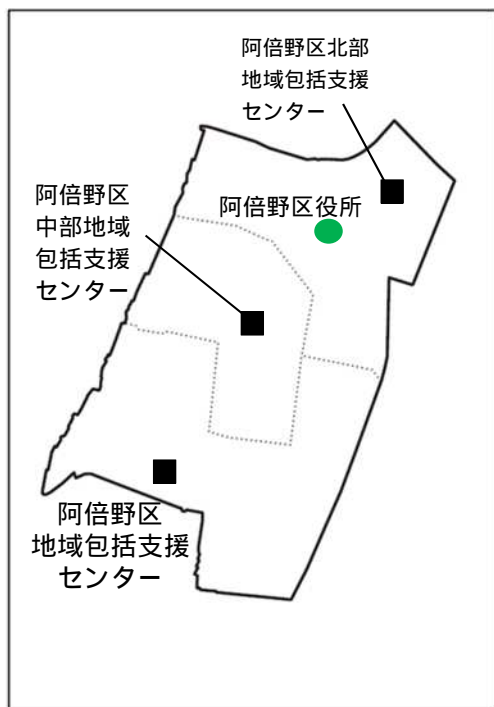
阿倍野区の高齢化の特徴

高齢化率は 25.8% で 24 区中 12 位と中位にある。65～74 歳人口比率が 16 位に対し、75 歳以上人口比率は 10 位と差がある。

65 歳以上単独世帯率は 9 位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は 11 位であり、ともに大阪市水準をやや上回る。

高齢化率が中位のわりに、他の指標は平均に比べ若干高く、世帯の高齢化水準がやや進んでいる区域である。

3. 阿倍野区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

地域福祉コーディネーターを軸として、地域の要
 援護者の把握や見守りボランティア活動を継続
 的に取り組み、世代を超えて相互に支え合う体制
 づくりがなされている。
 高齢者の虐待防止や成年後見制度について周知
 啓発をしてきたことにより高齢者の権利擁護に
 寄与している。
 生活習慣病予防、健康づくりのためにあべのウォ
 ーク等を開催し、運動習慣者が増加傾向である。
 特定健診受診者も年々増加している。

5. 地域資源情報

地域の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区 分	件 数
地域包括支援センター	3 か所
総合相談窓口（ランチ）	2 か所
老人クラブ数	43 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	10 団体
民生委員・児童委員	144 人

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	88	介護老人 福祉施設	4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	1
訪問看護	21			地域密着型通所介護	19
訪問リハビリテーション	0	介護老人 保健施設	2	認知症対応型通所介護	2
通所介護	17			小規模多機能型居宅介護	4
通所リハビリテーション	4			認知症対応型共同生活介護	8
福祉用具貸与	17	介護療養型 医療施設	0	地域密着型特定施設入居者 生活介護	0
短期入所生活介護	4			地域密着型介護老人福祉 施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	2			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	9				
居宅介護支援	72				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区 分	件 数	区 分	件 数
在宅療養支援病院	0 か所	在宅療養支援歯科診療所	20 か所
在宅療養支援診療所	27 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	68 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

あべのウォーク/ちょこっとウォーキング
 阿倍野区健康づくり推進協議会(事務局：保健福祉センター)と老人クラブが主催するウォーキング
 イベント。生活習慣病及び認知症予防を目的として年 10 回開催している。
 サポーター養成講座
 あべのウォーク/ちょこっとウォークの企画・運営をサポートし、地域での運動習慣化を推進する
 リーダーとして養成しており、平成 29 年 10 月 1 日現在 34 名が登録している。
 「あべの 安全・安心 見守り、支え合い隊」事業
 「地域福祉コーディネーター」を各地域に配置し、地域と連携しながら介護情報や緊急連絡先等を
 記載した「要援護者名簿」の整理・充実を図るとともに、ボランティアの発掘・育成を進め、地域の
 福祉ニーズを把握する体制をつくり、地域自らによる見守り体制の構築を図る。
 大阪市阿倍野区高齢者食事サービス事業
 ひとり暮らし高齢者等を対象に会食等の食事サービスを実施する事業者に補助を行うことにより、
 高齢者の健康増進、地域社会との交流、介護予防、社会参加の促進を図る。

20. 住之江区

1. 住之江区プロフィール

特徴	住之江区は大阪市の南西部に位置し、北を大正区と西成区に、東を住吉区に接し、南は大和川を隔てて堺市に隣接し、西は大阪港にひらけている。区の東部は、古くから紀州街道沿いに町並みが形成され、南海本線や阪堺線の開通にともなって、住宅地・商店街として発展してきた。中部の木津川沿いから平林にかけての地域は、造船・鉄鋼・金属関係の重工業地帯として発展してきた。西部に位置する咲洲（南港）は、自然と文化・暮らしと経済の調和をめざした新しい港湾都市としての整備により、憩いと安らぎのまちづくりが進められてきた。
トピックス	住之江では、大阪港咲洲トンネルの開通により、都心へのアクセスがより一層確保され、ポートタウン北側の「コスモスクエア」では、国際見本市会場（インテックス大阪）・アジア太平洋トレードセンター（ATC）など、21世紀の国際文化情報都市にふさわしい、新しいまちづくりが行なわれている。

2. 統計からみる住之江区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	121,785人	9	面積	20.61 km ²	1
人口密度	5,909人/km ²	23	世帯数	57,851世帯	11

高齢化指標

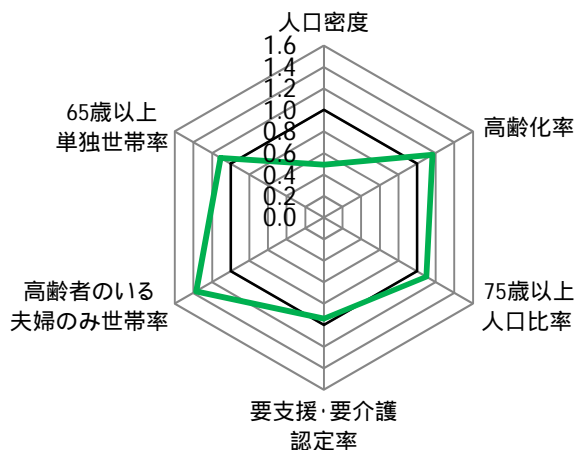
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	36,522人	9	高齢化率	30.0%	5
65～74歳人口	19,254人	8	75歳以上人口	17,268人	9
65～74歳人口比率	15.8%	2	75歳以上人口比率	14.2%	9
要介護認定者数 ¹ (認定率)	8,291人	9	認知症高齢者数(65才以上) ²	1,612人	10
	23.1%	15	認知症高齢者数(75才以上) ²	1,402人	10
65歳以上単独世帯数 ³ (世帯率)	9,365世帯	9	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	6,738世帯	6
	16.5%	8		11.8%	2

1：平成29年9月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

住之江区の水準（大阪市 = 1とした指数）



住之江区の高齢化の特徴

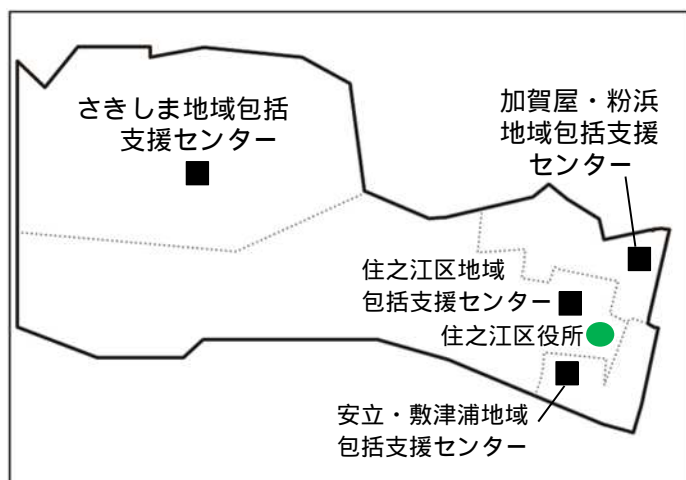
高齢化率は30.0%と5位である

65～74歳人口比率2位に対して、75歳以上人口比率は9位と差がみられる。

65歳以上単独世帯率は8位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は2位となっている。

各指標の水準が、概ね大阪市の水準より高く、高齢化が進行している区域であるが、認定率は15位と低くなっている。

3. 住之江区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域など、周りの人々と幸せに暮らすことのできるまちをめざす。
 「見守りあったかネット事業」の推進により、要援護者の見守り体制を構築している。
 人材不足の介護事業所と、生活困窮者の就労をマッチングし、介護人材の循環の仕組みを立ち上げている。
 「咲洲ウェルネスタウン計画」における取組事業を順次実施している。

5. 地域資源情報

地域資源の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数	区分	件数
地域包括支援センター	4 か所	連合町会数（H27 国勢調査）	14 団体
総合相談窓口（ランチ）	3 か所	民生委員・児童委員	187 人
老人クラブ数	48 団体		

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	82	介護老人福祉施設	7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	19			地域密着型通所介護	24
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	6	認知症対応型通所介護	1
通所介護	20			小規模多機能型居宅介護	3
通所リハビリテーション	8			認知症対応型共同生活介護	9
福祉用具貸与	15	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	8			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	7			複合型サービス	1
特定施設入居者生活介護	6				
居宅介護支援	60				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	1 か所	在宅療養支援歯科診療所	15 か所
在宅療養支援診療所	35 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	60 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

生活支援コーディネーターとの連携

地域福祉資源の発掘やと地域団体とのコーディネートなどを行う生活支援コーディネーターと共に、区民で構成される実行委員会にて地域福祉課題についての定期的な会議やイベントの実施。また、実行委員会は協議体のひとつとしても位置づけられている。

企業や大学との連携

7 社との見守り協定を締結し、意見交換会や、あったかネットサポーター養成講座を実施。地域団体が実施する高齢者向けアンケートへ大学が調査計画の監修等で協力している。

21. 住吉区

1. 住吉区プロフィール

特徴	住吉区は大阪市の最南部に位置し、大和川を隔てて堺市に接している。区内には、「住吉造り」といわれる神社建築史上特異な様式をもち、反橋(太鼓橋)や住吉踊で有名な「住吉大社」や、「吾彦山大聖観音寺」をはじめ多くの由緒ある神社仏閣や史跡がある。区民の憩いの場所として、桜で名高い万代池公園に加え、長居公園(東住吉区)や住吉公園(住之江区)にも恵まれており、都心への交通至便な住宅区としても、公営住宅の高層化や新しいマンションが建設され、都市整備が進められている。
トピックス	住吉区では、平成12年6月に、住吉スポーツセンター・住吉屋内プールが完成し、区民の福祉・健康増進に寄与している。また、平成19年11月には南住吉3丁目15番街区(旧沢之町公園)に、広域避難地域などの機能も備えた、あらたな地域コミュニティの拠点として、住吉区複合施設が完成し、住吉区民センター・住吉区役所・住吉区保健福祉センター・水道局住吉サービスステーション(現在は閉鎖)住吉図書館が整備された。

2. 統計からみる住吉区の状況(基準日:平成29年10月1日現在)

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	153,350人	5	面積	9.40 km ²	10
人口密度	16,314人/km ²	7	世帯数	72,401世帯	6

高齢化指標

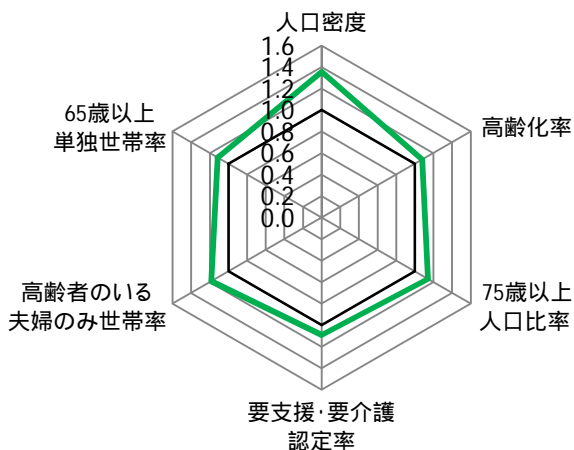
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	42,580人	5	高齢化率	27.8%	9
65~74歳人口	20,017人	6	75歳以上人口	22,563人	2
65~74歳人口比率	13.1%	10	75歳以上人口比率	14.7%	7
要介護認定者数 ¹	11,244人	3	認知症高齢者数(65才以上) ²	2,578人	5
(認定率)	26.8%	4	認知症高齢者数(75才以上) ²	2,273人	5
65歳以上単独世帯数 ³	11,905世帯	6	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	7,334世帯	4
(世帯率)	16.6%	5		10.2%	8

1:平成29年9月末

2:認知症高齢者数は居宅のみ(平成29年4月1日現在)

3:国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」(平成27年10月1日現在)

住吉区の水準(大阪市=1とした指数)



住吉区の高齢化の特徴

高齢化率は27.8%と24区中9位である。

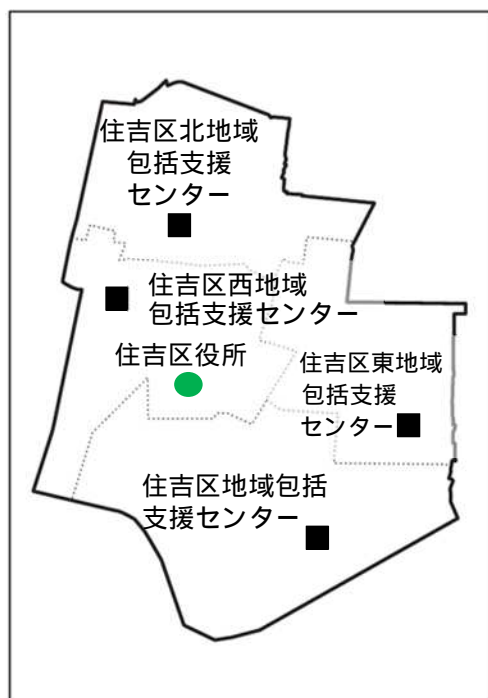
65~74歳人口比率が10位、75歳以上人口比率は7位となっている。

65歳以上単独世帯率は5位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は8位と市水準よりである。

認定率は4位となっている。

各指標の水準は、全体的に大阪市の水準に比べて高く、高齢化が進んでいる区域である。

3. 住吉区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

区として『自立した区民・地域の「和」で創るまち』の実現をめざしている。地域における災害時の支援と日常的な見守りを一体的に対応するシステムの構築を推進。区役所内に「地域見守り相談室」を設置し、区内の4つの包括圏域ごとにコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置。身近な地域での相談や支援を行なっている。地域、支援関係機関、ライフライン業者等と連携して、孤立死防止のためのネットワーク構築に取り組んでいる。

5. 地域資源情報

地域の状況（平成29年3月31日現在）

区分	件数
地域包括支援センター	4 箇所
総合相談窓口（ランチ）	5 箇所
老人クラブ数	47 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	12 団体
民生委員・児童委員	220 人

主な介護保険事業者・施設の状況（平成29年9月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	118	介護老人福祉施設	7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1
訪問入浴介護	5			夜間対応型訪問介護	2
訪問看護	22			地域密着型通所介護	33
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	3	認知症対応型通所介護	9
通所介護	21			小規模多機能型居宅介護	6
通所リハビリテーション	8			認知症対応型共同生活介護	15
福祉用具貸与	14	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	8			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	0
短期入所療養介護	3			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	11				
居宅介護支援	88				

在宅医療の状況（平成29年10月1日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	2 箇所	在宅療養支援歯科診療所	13 箇所
在宅療養支援診療所	39 箇所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	89 箇所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

住吉区見守り支援システム

災害時要援護者台帳登録と地域住民による日常的な見守り活動を一体化。包括圏域ごとにコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し区役所内に「地域見守り相談室」を設置し取りまとめを行っている。

住吉どらやきの会（医療介護連携を支える会）

大阪急性期医療センターを中心に区内6病院とケアマネジャーの連携づくりのため発足した自主会。3師会、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、行政も加わり病院から在宅医療の包括的、継続的な支援体制づくりに向けたフィールドとなっている。

高齢者家族の介護者の支援

男性介護者のための「ほっこりサロン」、高齢の親を介護する息子さんと娘さんのための介護者の集い、講演会やイベント時に被介護者を世話する「いきいきライフサポーター」の養成、ケアルームを設置運営している。

22. 東住吉区

1. 東住吉区プロフィール

特徴	東住吉区は大阪市南部に位置し、大阪市で8番目の大きさをもつ行政区域であり、東は平野区、西は阿倍野区・住吉区、北は生野区に接し、南は大和川をはさんで松原市に隣接している。区域の約90%は閑静な住宅地域で、JR 阪和線、近鉄南大阪線、地下鉄谷町線の駅付近は商業地域として発展しており、特に駒川商店街は大阪市内でも有数の商店街として知られている。区の北東部には、大阪南部の「市民の台所」として、中央卸売市場東部市場があり、食品流通の拠点として大きな役割を果たしている。南西部の一角を占める長居公園は、文化とスポーツの憩いの場として、花と緑の相談の場として、多くの市民から親しまれている。
トピックス	東住吉区の南部には、東住吉スポーツセンターなどがあり、地域に親しまれ利用されている。高齢者の保健・医療・福祉サービスの総合的、効果的な提供を図る施設として、区在宅サービスセンター（愛称：さわやかセンター）と全ての中学校下（7校下）には地域在宅サービスステーションがあり、在宅支援事業をはじめ、さまざまな支援事業が行われ、高齢者にとって住みやすい街づくりが着々と進められている。

2. 統計からみる東住吉区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	126,161人	8	面積	9.75 km ²	8
人口密度	12,940人/km ²	16	世帯数	58,747世帯	10

高齢化指標

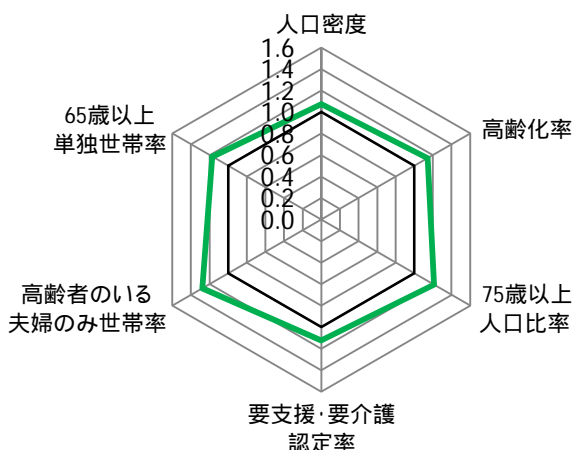
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	37,181人	8	高齢化率	29.5%	6
65～74歳人口	17,426人	9	75歳以上人口	19,756人	8
65～74歳人口比率	13.8%	6	75歳以上人口比率	15.7%	4
要介護認定者数 ¹ (認定率)	10,383人	6	認知症高齢者数(65才以上) ²	2,461人	6
	27.6%	3	認知症高齢者数(75才以上) ²	2,143人	6
65歳以上単独世帯数 ³ (世帯率)	10,036世帯	8	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	6,364世帯	7
	17.4%	4		11.0%	5

1：平成29年9月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

東住吉区の水準（大阪市 = 1とした指数）



東住吉区の高齢化の特徴

高齢化率は29.5%と24区中6位である。

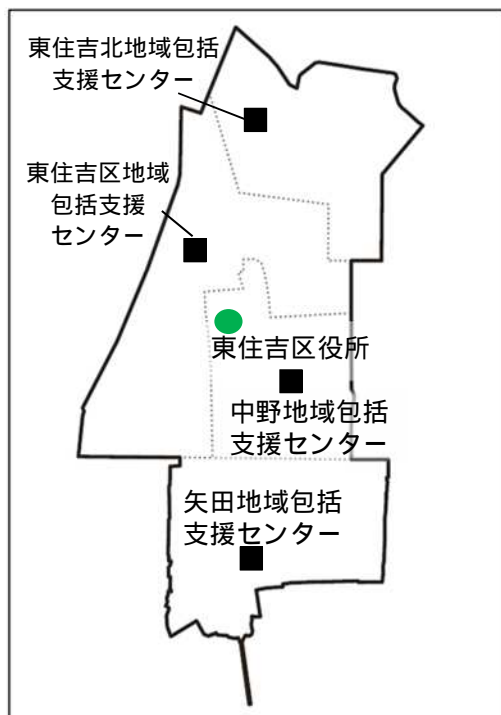
65～74歳人口比率は6位、75歳以上人口比率は4位である。

65歳以上単独世帯率は4位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は5位である。

認定率が3位となっている。

各指標の水準が、全体的に大阪市の水準に比べて高く、高齢化が進んでいる区域である。

3. 東住吉区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

健康的で、安心して老いていける、だれもが“しあわせに”暮らせるまちをめざしている。多様な“困りごと”をおたがいさまの意識で支えあえるよう、身近な地域でつなぐしくみづくりを推進している。

有償による助け合い活動制度の導入、要援護者名簿を活用した地域における平時の見守りと災害時の避難支援への備えを強化、認知症高齢者等徘徊者の保護のためのメール配信システムの活用に取り組んでいる。

5. 地域資源情報

地域の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区 分	件 数
地域包括支援センター	4 か所
総合相談窓口（ランチ）	3 か所
老人クラブ数	27 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	14 団体
民生委員・児童委員	214 人

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	146	介護老人福祉施設	7	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3
訪問入浴介護	1			夜間対応型訪問介護	1
訪問看護	22			地域密着型通所介護	43
訪問リハビリテーション	3	介護老人保健施設	7	認知症対応型通所介護	4
通所介護	27			小規模多機能型居宅介護	5
通所リハビリテーション	8			認知症対応型共同生活介護	15
福祉用具貸与	25	介護療養型医療施設	1	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	8			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
短期入所療養介護	8			複合型サービス	1
特定施設入居者生活介護	6				
居宅介護支援	108				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区 分	件 数	区 分	件 数
在宅療養支援病院	3 か所	在宅療養支援歯科診療所	25 か所
在宅療養支援診療所	40 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	58 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

「とんずみサポート」

区内の高齢者、障がい者等を対象に、公的な福祉サービスでは対応できない日常生活の“ちょっとした困りごと”について、有償でサポートする住民同士の支え合い活動を実施。

「高齢者食事サービス事業（ふれあい型）」

在宅の一人暮らし高齢者等を対象に、高齢者の健康の増進と地域社会との交流を目的として、ボランティアが地域施設において会食等の機会を提供する活動への補助を実施。

「はつらつ脳活性化元気アップ事業」

生活習慣病予防から認知症予防となる健康講座を住民主体で行い、認知症にならない、認知症になっても安心して暮らせる地域をめざした活動。各地域にリーダーを育成し事業展開する中で、世代間交流も意識し、キッズサポーターも養成して、安心して暮らせるまちに繋げる。

23. 平野区

1. 平野区プロフィール

特徴	<p>平野区は大阪市の東南部に位置し、東は八尾市、西は東住吉区、南は松原市、北は生野区及び東大阪市に接している。全般的には住居地域としての色合いが強く、公営住宅数については市内1位（24,274戸：平成29年4月1日現在）を有している。</p> <p>南部の喜連・瓜破・長吉地域は公営住宅や中高層住宅が建つ比較的新しい町並みの中に農地や遺跡が存在し、中央部の平野地域は古い家々と多数の神社・仏閣が存在する町並み、北部の加美地域は工業地区としての性格を有する町並みなどバラエティーに富んだ町になっている。区内の交通機関については、北部をJR大和路線・おおさか東線、中央部から東南部は地下鉄谷町線が通り、それぞれ市の中央部と直結している。</p>
トピックス	<p>平野区の施設では、男女共同参画社会をめざす『クレオ大阪南(男女共同参画センター南部館)』、おとしよりの自立を支援し、住み慣れた家庭への復帰をお手伝いする『おとしよりのすこやかセンター南部館』、出会う・学ぶ・創るをテーマにした手作り工芸の『大阪市立クラフトパーク』、バリアフリーの『平野屋内プール』、人権と文化の輪を広げる『平野図書館』など、人々の暮らしを豊かに夢あるものへと誘う様々な整備が進んでいる。</p> <p>また、障がい者支援の基幹施設である『大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンター』、発達障がいの各種相談等を行う『大阪市発達障がい者支援センター「エルムおおさか」』などの大阪市における基幹施設も所在している。</p>

2. 統計からみる平野区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	194,955人	1	面積	15.28 km ²	3
人口密度	12,759人/km ²	17	世帯数	90,536世帯	3
公営住宅数	24,274戸	1			

：平成29年4月1日現在

高齢化指標

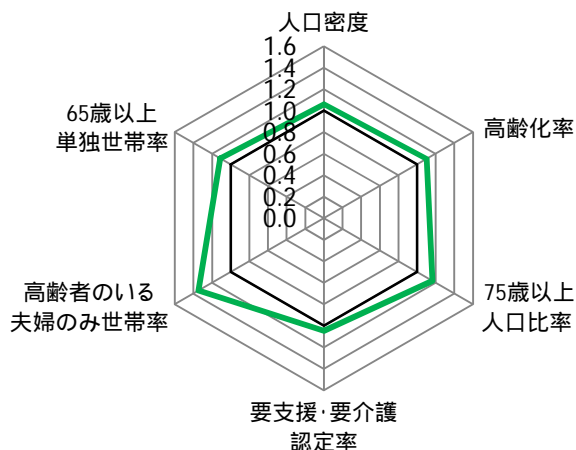
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	55,413人	1	高齢化率	28.4%	7
65～74歳人口	26,067人	1	75歳以上人口	29,346人	1
65～74歳人口比率	13.4%	9	75歳以上人口比率	15.1%	6
要介護認定者数 ¹ (認定率)	14,079人	1	認知症高齢者数(65才以上) ²	3,262人	2
	25.7%	6	認知症高齢者数(75才以上) ²	2,849人	1
65歳以上単身世帯数 ³ (世帯率)	14,720世帯	2	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	10,338世帯	1
	16.6%	6		11.6%	4

1：平成29年9月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

平野区の水準（大阪市 = 1とした指数）



平野区の高齢化の特徴

高齢化率は28.4%と24区中で7位である。

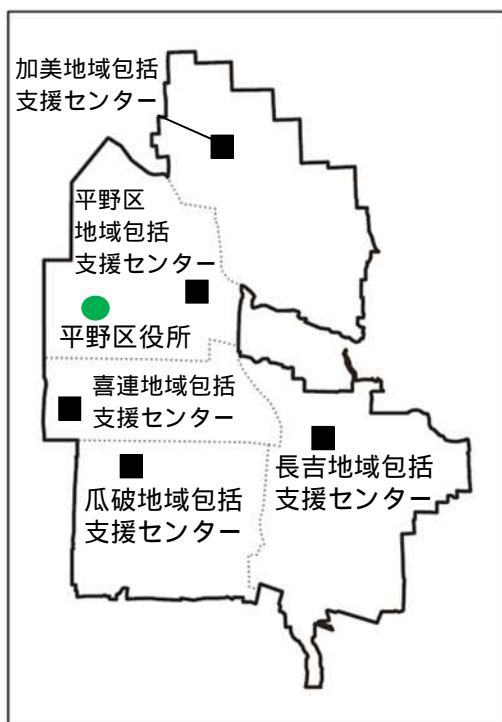
65～74歳人口比率が9位に対して、75歳以上人口比率は6位である。

65歳以上単身世帯率は6位、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は4位となっている。

認定率は6位となっている。

各指標の水準すべてにおいて大阪市の水準を上回っており、高齢化が非常に進んでいる区域である。

3. 平野区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

高齢化率が平成 22 年から平成 27 年において 24.2%から 27.6%（国勢調査）に増加している平野区において、地域における支援が必要な方を「見守り」「発見」「支える」ために、地域の特性に応じた支援体制の基盤整備を行いつつ、誰もがお互いを支えあえる地域福祉活動の推進を図っていく必要がある。

65 歳以上の在宅認知症高齢者等の数が平成 21 年から平成 27 年の 6 年間で 1.6 倍に増加している。認知症になっても、住んでいる地域で自分らしく安心して暮らしを続けることができるよう、認知症の予防や理解を促進し、認知症高齢者を支援するための取組や連携強化を関係機関や多職種等とともに、推進していく必要がある。

5. 地域資源情報

地域の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	件数
地域包括支援センター	5 か所
総合相談窓口（ランチ）	6 か所
老人クラブ数	50 団体
連合町会数（H27 国勢調査）	22 団体
民生委員・児童委員	255 人

主な介護保険事業者・施設の状況（平成 29 年 9 月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	195	介護老人福祉施設	10	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2
訪問入浴介護	3			夜間対応型訪問介護	1
訪問看護	29			地域密着型通所介護	44
訪問リハビリテーション	2	介護老人保健施設	7	認知症対応型通所介護	13
通所介護	42			小規模多機能型居宅介護	7
通所リハビリテーション	6			認知症対応型共同生活介護	19
福祉用具貸与	21	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	1
短期入所生活介護	11			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
短期入所療養介護	6			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	11				
居宅介護支援	125				

在宅医療の状況（平成 29 年 10 月 1 日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	2 か所	在宅療養支援歯科診療所	20 か所
在宅療養支援診療所	53 か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	85 か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

地域福祉活動コーディネーター事業（各地域の特性に応じた地域福祉支援体制の構築）

地域における支援が必要な方を「見守り」「発見」し、相談から必要な支援へ「つなげる（支える）」地域の要として、区内全 22 地域に地域福祉活動コーディネーターを配置し、地域の特性に応じて、関係機関等と連携しつつ、地域福祉活動の推進を図っている。

いきいき脳活（認知症予防推進事業）

区内関係者の協力のもと、高齢者が認知症の理解を深め、身近な場所で、仲間づくりとともに継続した認知症予防の自主的な取組ができるようなシステム構築に取り組んでいる。

いきいき百歳体操推進事業

百歳体操の担い手の養成を目的としたサポーター養成講座の実施、養成後のサポーターのモチベーションの維持・向上のためのサポーター交流会、継続参加者の全体交流会を行っている。

平野区「健康フェスタ&食育展」

区内の医療専門職や健康づくり等の関係団体、教育機関、民間企業、行政などが連携し、健康と食について、こどもから高齢者まで、楽しんで体験し学べるイベントを開催することにより普及啓発に取り組んでいる。

24. 西成区

1. 西成区プロフィール

特徴	西成区は上町台地の西側から木津川に至る間に位置しており、北に浪速区、東に阿倍野区、南に住之江区、木津川を挟んで西に大正区が隣接している。区の東部を南北にとおる旧紀州街道（住吉街道）は16世紀頃から堺の発展とともにひらけたもので、豊臣秀吉が堺政所や住吉大社への道中、この地で茶を楽しんだことから天下茶屋と呼ばれるようになり、大阪市顕彰史跡・天下茶屋跡を今に残している。現在は、国道26号・43号などの幹線道路、地下鉄・JR・私鉄が通る交通至便の地であり、商工業のまち、庶民的なまちとして、今なお人情豊かな下町の風情が残っている。
トピックス	西成区では、南海天下茶屋工場跡地の一角には、日本最大級のオーケストラ練習場である「大阪フィルハーモニー会館」（岸里1丁目）があり、大阪フィルハーモニー交響楽団の活動拠点となっている。また、区の中央南部には「南津守さくら公園・スポーツ広場」（南津守1丁目）があり、スポーツ振興に寄与している。将来像として、あらゆる世代の区民や福祉施設などのさまざまな活動主体が協働して地域活動を進めることで、すべての区民が住みなれた地域で安心・安全に暮らせ、すべての人権が尊重されるまちの実現をめざしている。

2. 統計からみる西成区の状況（基準日：平成29年10月1日現在）

主要統計指標

項目	データ	順位	項目	データ	順位
人口総数	110,410人	11	面積	7.37 km ²	16
人口密度	14,981人/km ²	11	世帯数	69,401世帯	7

高齢化指標

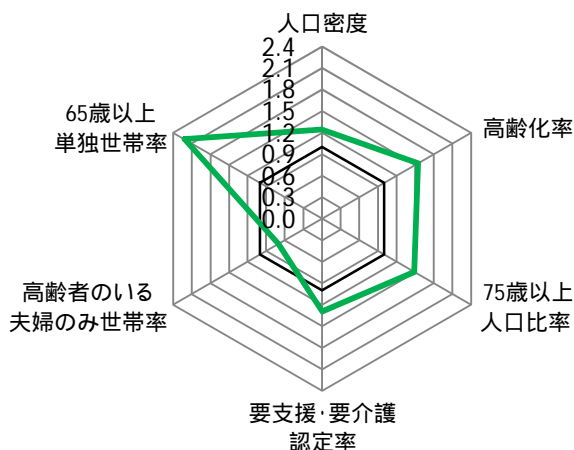
項目	データ	順位	項目	データ	順位
65歳以上人口	44,004人	2	高齢化率	39.9%	1
65～74歳人口	22,861人	2	75歳以上人口	21,143人	6
65～74歳人口比率	20.7%	1	75歳以上人口比率	19.1%	1
要介護認定者数 ¹	13,053人	2	認知症高齢者数(65才以上) ²	3,466人	1
(認定率)	31.7%	1	認知症高齢者数(75才以上) ²	2,680人	2
65歳以上単独世帯数 ³	22,456世帯	1	65歳以上高齢者のいる夫婦のみ世帯数 ³ (世帯率)	4,156世帯	14
(世帯率)	32.9%	1		6.1%	20

1：平成29年9月末

2：認知症高齢者数は居宅のみ（平成29年4月1日現在）

3：国勢調査「65歳以上の世帯員のいる世帯」（平成27年10月1日現在）

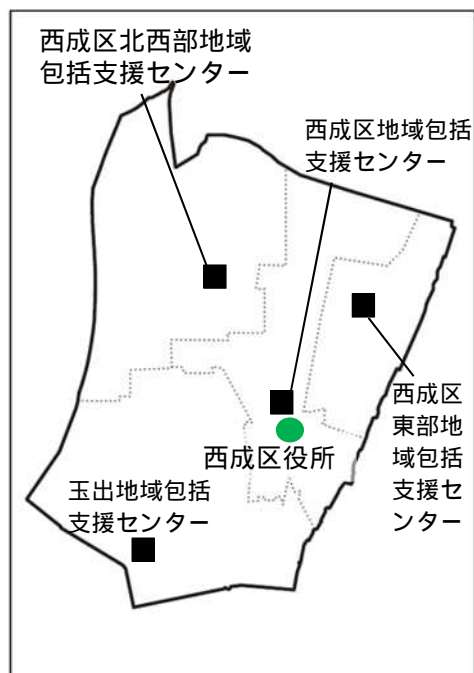
西成区の水準（大阪市 = 1とした指数）



西成区の高齢化の特徴

高齢化率は39.9%と24区中で最も高い。
 65～74歳人口比率、75歳以上人口比率も1位である。
 65歳以上単独世帯率が1位の一方、高齢者のいる夫婦のみ世帯率は20位と大きな差がある。
 認定率は1位となっている。
 大阪市の水準に比べると、高齢化が最も進んでいる区域であるが、高齢者のいる夫婦のみ世帯率に限り低くなっている。

3. 西成区の日常生活圏域図



4. 地域の状況

西成区は、他区と比べて特に高齢化が進み、若い世代が少ないことや、あいりん地域をはじめ、生活保護率が非常に高いなどの様々な課題が存在しており、それらを解決し区の活性化を図るために、平成25年度から西成特区構想による様々な取組みが市として進められている。
西成区地域福祉アクションプランの取組みで、より地域の特性・実情にあった「つながりづくり」を進めるため、地域の福祉的課題に対応した地域活動を推進している。

5. 地域資源情報

地域の状況（平成29年3月31日現在）

区分	件数
地域包括支援センター	4か所
総合相談窓口（ランチ）	5か所
老人クラブ数	53団体
連合町会数（H27国勢調査）	16団体
民生委員・児童委員	306人

主な介護保険事業者・施設の状況（平成29年9月末現在）

居宅サービス	件数	施設サービス	件数	地域密着型サービス	件数
訪問介護	285	介護老人福祉施設	8	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3
訪問入浴介護	3			夜間対応型訪問介護	0
訪問看護	25			地域密着型通所介護	42
訪問リハビリテーション	0	介護老人保健施設	4	認知症対応型通所介護	3
通所介護	31			小規模多機能型居宅介護	5
通所リハビリテーション	4			認知症対応型共同生活介護	16
福祉用具貸与	37	介護療養型医療施設	0	地域密着型特定施設入居者生活介護	0
短期入所生活介護	7			地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1
短期入所療養介護	4			複合型サービス	0
特定施設入居者生活介護	10				
居宅介護支援	147				

在宅医療の状況（平成29年10月1日現在）

区分	件数	区分	件数
在宅療養支援病院	2か所	在宅療養支援歯科診療所	16か所
在宅療養支援診療所	31か所	在宅患者訪問薬剤管理指導料	69か所

6. その他（高齢者の支援に関する区独自の取組など）

地域ネットワーク委員（436人）による活動
西成区では、各地区でネットワーク委員会活動が継続されており、支援を必要としている住民の発見や地域における見守り活動の中心的な役割を果たしている。
要援護者名簿の地域提供
平成18年度から区独自の「緊急時要援護者登録事業」を開始して地域へ要援護者名簿の提供を行っており、これを平成27年度から全区で始まった「地域における要援護者の見守りネットワーク強化学業」の対象者と統合し、より幅広い要援護者名簿として見守り活動を進めている。
単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業（愛称「ひと花プロジェクト」）
社会的に孤立する単身高齢生活保護受給者の生活改善のみならず、事業を通じた社会貢献活動が評価されており、地域とのつながりが希薄であった者も地域で居場所ができ、新たな「つながり」が生まれている。
あいりん地域を中心とした結核対策
結核罹患率が非常に高い西成区では、高齢者を中心とした効果的な結核検診の実施により患者の早期発見・早期治療につなげるとともに、患者が最後まで治療を継続できるよう、患者一人ひとりの状況に応じた服薬支援を実施している。